

資料編 調査票及び集計結果

調布市民福祉ニーズ調査 調布市民の福祉意識と地域生活に関する調査

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび調布市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、今後、より身近な福祉健康施策を推進するための資料とするため、「調布市民の福祉意識と地域生活に関する調査」を実施することとなりました。この調査は、平成 25 年 10 月 1 日現在、調布市にお住まいの 18 歳から 64 歳までの市民の皆様の中から、2,000 人を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成 25 年 10 月 調布市長 長 友 貴 樹

裏面の「記入についてのお願い」をよくお読みのうえ、ご記入をお願いします。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

ご記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月4日(月)までに郵便ポストに投函してください。

調査についてご質問などがありましたら、

下記までお問い合わせください。

問合せ先

調布市 福祉健康部 福祉総務課

電話：042-481-7101



記入についてのお願い

1. 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。
調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。なお、ご本人が回答困難な場合、入院中などの場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[]内に具体的な答えを記入してください。

あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします

※ここでいう「あなた」とは調査票をお送りしている方のことです。

※以下の質問については平成 25 年 10 月 1 日現在の状況をもとに回答してください。

問1 あなたの性別は次のうちどれですか。(1つに〇)

(N=836)

1. 男性	42.7%	2. 女性	56.8%	無回答	0.5%
-------	-------	-------	-------	-----	------

問2 あなたの平成 25 年 10 月 1 日現在の年齢をご記入ください。

(N=836)

満〔 43.4 〕歳	※数字を記入
------------	--------

10 歳代	3.1%	30 歳代	22.4%	50 歳代	20.3%	無回答	0.7%
20 歳代	12.0%	40 歳代	29.2%	60 歳代	12.3%		

問3 お住まいの地域はどこですか。記入例を参考に、【町名】、【丁目】をご記入ください。

(N=836)

第1地域	3.9%	第3地域	11.0%	第5地域	5.5%	第7地域	16.1%	第9地域	9.9%
第2地域	12.3%	第4地域	5.3%	第6地域	13.0%	第8地域	13.5%	第10地域	7.5%
								無回答	1.8%

問4 あなたのご職業は次のうちどれですか。(1つに〇)

(N=836)

1. 自営業・自由業	6.8%
2. 企業の社員・役員(従業員 50 人未満)	9.4%
3. 企業の社員・役員(従業員 50 人以上)	31.5%
4. 公務員	6.6%
5. パート・内職などの仕事	13.3%
6. 専業主婦(夫)	15.0%
7. 学生	5.7%
8. 無職	5.7%
9. その他〔具体的に： 〕	5.4%
無回答	0.6%

問5 現在、あなたがいっしょに暮らしているご家族は、あなたからみて、どなたですか。
(いくつでも○)
(N=836)

1. ひとり暮らし	13.4%		
2. 配偶者	61.5%	6. 兄弟姉妹	10.2%
3. 親	23.8%	7. 祖父母	1.8%
4. 子ども(子どもの配偶者を含む)	45.6%	8. その他〔具体的に: 〕	2.3%
5. 孫(孫の配偶者を含む)	0.4%	無回答	0.6%

問5-1 問5で2~8(同居人がいる世帯)と答えた方におたずねします。現在いっしょに暮らしているご家族はあなたを含めて何人ですか。数字をご記入ください。
(n=719)

(3.3) 人 ※数字を記入

2人	25.7%	3人	29.6%	4人	29.2%	5人以上	11.3%
無回答	4.2%						

問5-2 問5で2~8(同居人がいる世帯)と答えた方におたずねします。現在、あなた自身、もしくは同居のご家族に次のような方はいますか。(いくつでも○)
(n=719)

1. 乳児(1歳未満)	2.9%	5. 65歳以上の方	19.3%
2. 乳児を除く小学校入学前の幼児	16.3%	6. 身体・知的・精神などの障害のある方	5.3%
3. 小学生	19.3%	7. 介護・介助を必要とする方	4.6%
4. 中学生・高校生	15.7%	8. いずれもない	35.9%
		無回答	3.6%

問6 あなたのお住まいの近く(おおむね徒歩30分以内)には、食事や介護、子育てを助け合ったりする親族や友人・知人がいらっしゃいますか。(1つに○)
(N=836)

1. 近くに気軽に頼める人がいる	19.3%
2. 気軽ではないが、いざという時には頼める人が近くにいる	21.3%
3. 近くにはいないが、頼める人がいる	17.2%
4. 特に頼める人はいない	41.1%
無回答	1.1%

問7 あなたは調布市に何年お住まいですか。(1つに〇)
(N=836)

1. 1年未満	4.9%	5. 10年以上 20年未満	26.1%
2. 1年以上3年未満	9.6%	6. 20年以上 30年未満	15.4%
3. 3年以上5年未満	8.0%	7. 30年以上	17.8%
4. 5年以上 10年未満	17.3%	無回答	0.8%

問8 あなたのお住まいは、次のどれですか。(1つに〇)
(N=836)

1. 持ち家の一戸建て	36.4%
2. 持ち家の集合住宅（マンション・アパートなど）	26.1%
3. 賃貸の一戸建て	2.2%
4. 賃貸の集合住宅（マンション・アパートなど）	24.9%
5. 公営住宅（市営・都営住宅など）	5.5%
6. 社宅・公務員住宅など	3.1%
7. その他〔具体的に：	〕 1.2%
無回答	0.7%

近所づきあいとお住まいの地域についておたずねします

問9 あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに〇)
(N=836)

1. 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている	8.5%
2. 立ち話をする程度のつきあいをしている	22.0%
3. あいさつをする程度のつきあいをしている	51.8%
4. 近所づきあいをしていない	17.2%
無回答	0.5%

→ **問9-1 問9で「4. 近所づきあいをしていない」と答えた方におたずねします。**
近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。(いくつでも〇)
(n=144)

1. 仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから	31.3%
2. 引っ越してきて間もないから	16.7%
3. 普段つきあう機会がないから	75.0%
4. 同世代の人が近くにいないから	9.0%
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから	12.5%
6. あまりかかわりを持ちたくないから	20.1%
7. その他〔具体的に：	〕 2.8%
無回答	0.0%

問10 あなたは自治会に加入していますか。(1つに○)

(N=836)

1. 加入している	38.4%
2. 加入していない	45.7%
3. 分からない	15.3%
無回答	0.6%

問 10-1 問 10 で「2. 加入していない」と答えた方におたずねします。

加入していない理由は何ですか。(いくつでも○)

(n=382)

1. メリットを感じないから	12.8%
2. 時間がないから	25.1%
3. きっかけがないから	41.4%
4. 人づきあいが面倒だから	8.1%
5. 興味がないから	15.4%
6. 地域にかかわりたくないから	1.0%
7. その他〔具体的に：	〕 39.8%
無回答	0.0%

問11 あなたにとって、住民が支えあう「地域」とはどのような範囲だと思いますか。次の中
でもっとも近いものをお答えください。(1つに○)

(N=836)

1. 隣近所(10世帯程度の隣近所)	30.0%
2. 自治会(市内約400自治会)	30.5%
3. 町名(市内26町, 例: 小島町, 西つつじヶ丘など)	17.0%
4. 小学校区(市内20地区)	14.4%
5. 中学校区(市内8地区)	1.6%
6. その他〔具体的に：	〕 2.9%
無回答	3.7%

問12 あなたは現在、お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。
 ((1)~(9)までそれぞれ1つに○)

(N=836)	とても満足している	満足している	どちらでもない	あまり満足していない	満足していない	無回答
(1) 隣近所などとのつきあい	3.6%	37.6%	47.4%	6.3%	3.5%	1.7%
(2) 町内会・地区協議会の活動	1.2%	14.4%	71.8%	5.1%	5.3%	2.3%
(3) 地域の交流	1.4%	15.2%	68.5%	8.3%	4.3%	2.3%
(4) サークルやボランティアの活動	1.7%	10.5%	72.5%	7.5%	5.3%	2.5%
(5) 地域の防災対策	1.3%	17.5%	61.6%	11.5%	5.7%	2.4%
(6) 相談できる体制	1.0%	13.8%	60.5%	15.0%	7.7%	2.2%
(7) 買い物などの便利さ	23.7%	44.4%	10.8%	13.9%	5.6%	1.7%
(8) 道路や交通機関などの使いやすさ	17.9%	45.5%	15.1%	14.2%	5.7%	1.6%
(9) 公的な手続きの便利さ	6.8%	33.7%	36.8%	15.9%	4.8%	1.9%

日ごろのお悩みと相談についておたずねします

問13 あなたは、身近な地域の中で不安や課題と感じていることはありますか。

(いくつでも○) *地域は問3でお答えになった地域を目安にお答えください。

(N=836)

1. 子育て、子どもの教育のこと	22.4%
2. 健康のこと	24.3%
3. 介護のこと	19.6%
4. 老後の生活のこと	35.2%
5. 住まいや住宅のこと	22.1%
6. 仕事のこと	19.0%
7. 経済的なこと	24.8%
8. 近所づきあい、友だちづきあいのこと	11.0%
9. 防犯、地域の安全のこと	33.1%
10. 災害時のこと	45.3%
11. 気軽に相談できる人（機関）が少ないこと	11.7%
12. その他〔具体的に：	〕 1.8%
13. 特にない	14.1%
無回答	2.3%

問14 あなたが、日常生活の中で困ったとき、主に相談できる相手は次のうちどなたですか。
 (1つに○)
 (N=836)

1. 同居の家族	63.2%
2. 別居の家族や親戚	16.4%
3. 自治会や近所の人	0.2%
4. 友人・知人	12.1%
5. その他〔具体的に：	〕 1.3%
6. 身近な相談相手はいない	3.5%
7. 困っていることはない	1.8%
無回答	1.6%

問15 あなたは、身近な方に相談しても困りごとが解決しなかったとき、次のようなところに相談したことがありますか。(いくつでも○)
 (N=836)

1. 民生委員・児童委員	1.1%
2. 市役所	16.7%
3. 社会福祉協議会	1.8%
4. 調布ゆうあい福祉公社	1.2%
5. 地域包括支援センター	2.4%
6. NPO 団体	0.6%
7. ボランティア	0.2%
8. ケアマネジャー・ヘルパーなどの民間事業者	3.8%
9. かかりつけ医や保健師など医療関係者	12.4%
10. その他〔具体的に：	〕 4.7%
11. 相談できる人（機関）はいない	10.6%
12. 困りごとが解決しなかったことはない	19.9%
13. 困っていることはない	30.5%
無回答	6.2%

問16 あなたは、日常生活の中で相談をしたり、困りごとを解決するための道具として、次のような情報通信機器の機能を活用していますか。(1)～(4)までそれぞれ1つに○
(N=836)

	所有し、 ものになっ ていない	所有し、 時折使う	所有しているが、 減多に使わ ない	所有してい ない	無回 答
(1) 携帯電話・スマートフォンの通話	39.5%	38.3%	17.2%	2.4%	2.6%
(2) 携帯電話・スマートフォンのメール	43.1%	37.7%	13.5%	2.5%	3.2%
(3) スマートフォン・タブレット型端末の インターネットサイト・SNS*	26.4%	25.8%	13.6%	28.6%	5.5%
(4) 自宅用パソコンのインターネットサイト・ SNS	25.0%	37.6%	21.3%	12.7%	3.5%

※「SNS」

ソーシャル・ネットワーク・サービスの略。コミュニケーションを目的とした、登録制のインターネット上のサービスのこと。Facebook（フェイスブック）はその代表と言われ、世界最大の利用者を持つ SNS である。また国内ではゲーム機能等とも連動した LINE（ライン）の利用者が拡大している。

問17 現在、調布市ではツイッター*や防災の携帯電話メールによる市政情報の提供や施設予約のインターネットサービスを提供しています。あなたは、今後、調布市が提供するインターネットによるサービスについて、どうお考えですか。(いくつでも○)
(N=836)

1. インターネットのできる申請や手続の拡充を希望する	51.2%
2. 携帯電話（スマートフォン）のメールへの情報配信の拡充を希望する	32.1%
3. 調布市のホームページの情報提供の充実を希望する	37.0%
4. 調布市民のコミュニケーションが深まるようなサービス提供を希望する	16.7%
5. インターネットを利用したサービス拡充を希望しない	4.3%
6. よく分からない	18.9%
7. その他〔具体的に：	〕 3.8%
無回答	0.8%

※「ツイッター」

ツイッター社によって提供されている、140文字以内の短い投稿（ツイート）を入力して、みんなで共有するインターネットを利用したサービス。特定の投稿者のツイートを時系列で受け取ること（フォロー）ができ、ゆるいつながりを持つネット上の集団が話題を共有している。

災害時についてご存知のことやお考えをおたずねします

問18 あなたは、災害時についての不安や心配ごとがありますか。(いくつでも○)
(N=836)

1. 老朽化などお住まい(家屋)のこと	26.0%
2. 家具や家電の転倒対策が不十分なこと	30.9%
3. 食糧や日用品の備蓄が不十分なこと	56.1%
4. 避難所がはっきり分からないこと	26.7%
5. ご自身の歩行に不安があること	1.6%
6. 同居のご家族の歩行に不安があること	8.7%
7. 特に不安や心配ごとはない	10.8%
8. その他〔具体的に：	〕 12.7%
無回答	1.0%

問19 あなたは、災害時の安否確認ができる災害伝言ダイヤル(NTT), 災害用伝言板サービス(各種携帯電話会社)をご存知ですか。(1つに○)
(N=836)

1. 利用したことがある(試したことがある)	12.9%
2. 知っているが、使ったことはない	57.2%
3. 聞いたことはあるが、詳しくは分からない	26.3%
4. 聞いたことがない	3.2%
無回答	0.4%

問20 災害時にあなたが安否確認をする必要がある方(ご家族以外)が、近所にいますか。
(1つに○)
(N=836)

1. 今までに安否確認をした方がいる	11.0%
2. 今まで安否確認をしたことはないが、気になる方がいる	19.1%
3. 該当する方はいない	61.1%
4. 分からない	7.5%
無回答	1.2%

問21 あなたは、災害時に手助けが必要な地域の方に対してできることはありますか。(いくつでも○)
(N=836)

1. 避難所での支援活動（食糧・日用品の運搬等や炊き出しの手伝い）	62.4%
2. ひとり暮らし高齢者や手助けの必要な方への声掛け	42.9%
3. 子どものいる家族への手助け	37.0%
4. けが人の手当て	15.3%
5. 水や食糧の提供	12.3%
6. 特にできることはない	17.7%
7. その他〔具体的に：	〕 4.3%
無回答	1.6%

地域福祉活動等の取組についておたずねします

問22 次のような地域活動・ボランティア活動等について、あなたが興味のある活動はありますか。(いくつでも○)
(N=836)

1. 子育て世帯の支援・青少年の健やかな成長のための活動	26.6%
2. ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、介護が必要な高齢者を支援する活動	20.6%
3. 障害のある人（子ども）や病気の人を支援する活動	17.0%
4. 地域の伝統や文化を伝える活動	20.0%
5. 交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動	17.0%
6. 災害時に救援・支援をする活動	31.7%
7. 地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動	22.5%
8. 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	7.3%
9. その他〔具体的に：	〕 2.0%
10. 特に興味のある活動はない	26.7%
無回答	1.8%

問23 あなたは、実際に問22のような地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいますか。
(1つに○)
(N=836)

1. 現在、継続的に取り組んでいる	3.6%
2. たまに、取り組むことがある	6.2%
3. 以前取り組んだことがあるが、現在はほとんどしていない	16.7%
4. 取り組んだことはない	72.0%
無回答	1.4%

問24 あなたは、今後、問 22 のような地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。(1つに〇)
(N=836)

1. 積極的に、取り組んでいきたい	2.4%	→ 問24-1へ
2. できるだけ、取り組んでいきたい	8.6%	
3. 機会があれば、取り組んでもよい	45.0%	
4. 取り組みたいが、できない	24.2%	→ 問24-2へ
5. あまり取り組みたくない	16.5%	
無回答	3.3%	

問 24-1 問 24 で1～3と答えた方におたずねします。

どのような条件であれば、参加・活動しやすいと思いますか。(いくつでも〇)
(n=468)

1. 活動情報の提供があること	44.2%
2. 活動や団体を紹介してくれること	27.4%
3. 友人等といっしょに参加できること	17.3%
4. 時間や期間にあまりしぼられないこと	75.0%
5. 身近なところで活動できること	66.2%
6. 適切な指導者やリーダーがいること	31.8%
7. 身体的な負担が少ないこと	21.6%
8. 金銭的な負担が少ないこと	50.0%
9. その他〔具体的に：	〕 3.6%
10. 分からない	1.3%
無回答	0.0%

問 24-2 問 24 で4または5と答えた方におたずねします。

地域活動・ボランティア活動等に取り組まない理由は何ですか。

(いくつでも〇)

(n=340)

1. 興味のある活動がないから	8.5%	7. きっかけがないから	25.3%
2. 活動に関する情報がないから	11.8%	8. 人づきあいが面倒だから	12.6%
3. 経済的負担が大きいから	9.4%	9. 興味がないから	13.2%
4. 介護・育児で忙しいから	17.9%	10. 地域にかかわりたくないから	2.1%
5. メリットを感じないから	4.7%	11. その他〔具体的に：	〕 11.2%
6. 時間がないから	64.4%	無回答	0.9%

住民参加の地域づくりについておたずねします

問25 あなたは暮らしの中で、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)は必要だと思いませんか。(1つに〇)

(N=836)

1. とても必要だと思う	36.6%
2. どちらかといえば、必要だと思う	58.0%
3. どちらかといえば、必要ないと思う	3.1%
4. 必要ないと思う	1.2%
無回答	1.1%

問26 あなたがお住まいの地域には、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)はあると感じますか。(1つに〇)

(N=836)

1. とても感じる	7.2%
2. 少し感じる	40.1%
3. あまり感じない	40.0%
4. 感じない	11.8%
無回答	1.0%

問27 地域で住民の協力関係を築くためにはどのようなことが必要だと思いませんか。(3つまで〇)

(N=836)

1. 自ら進んで日ごろから住民相互のつながりをもつように心がけること	41.9%
2. 町内会・自治会が中心となって交流活動を進めること	22.2%
3. ボランティア団体やNPO(民間非営利組織)の活動を活発にすること	7.8%
4. 地域の人が気軽に集まる場所や地域活動の拠点となる場を作ること	9.8%
5. 地域の企業や団体などに地域活動への参加を呼びかけること	9.6%
6. 地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること	32.8%
7. 地域活動を担う、リーダーとなる人材を育成すること	12.3%
8. 行政や社会福祉協議会が地域活動への支援やコーディネートをする	15.7%
9. その他〔具体的に：〕	2.0%
10. 分からない	14.2%
無回答	1.7%

問 27-1 問 27 で4と答えた方におたずねします。

地域活動や住民同士の交流の拠点として地域福祉センターが市内に10箇所設置されていますが、どのような機能が必要だと思いますか。(3つまで○)

(n=249)

1. ボランティアコーナー等相談・コーディネート機能	25.7%
2. 活動・集会で利用できる貸し部屋機能	30.9%
3. パソコン等を活用した情報収集や自習ができるフリースペース機能	21.3%
4. ミニシアターや講座、セミナーの実施など、娯楽・社会教育機能	37.3%
5. カフェのような交流・溜り場機能	49.4%
6. 健康器具の設置など健康増進機能	14.9%
7. オムツ台や幼児の遊び場などの子育て支援機能	24.5%
8. 図書館や行政資料などの情報提供機能	18.5%
9. その他〔具体的に：〕	2.8%
10. 分からない	8.0%
無回答	0.0%

問28 ①あなたは次のような手助けをしてほしいと思いますか。【手助けへの意向】

②また、高齢者や障害のある方、子育てなどで困っている近所のご家庭などに対して、あなたは次のような手助けをしたことがありますか。【手助けの経験】

③また、手助けをしたことがない場合は、今後したいと思いますか。【今後の意向】

(1)~(8)までの手助けについて、該当する項目に○を記入してください。

	① 【手助けへの意向】				② 【手助けの経験】			③ 【今後の意向】				
	しつぽくある	しつぽくない	しつぽくない	無回答	したことがある	したことがない	無回答	今後したいと思っ ている	今後もしたい と思わない	分からない	無回答	
(1) 安否確認の声かけ	29.5%	21.8%	35.6%	13.0%	15.7%	79.2%	5.1%	n=662	43.2%	6.0%	49.7%	1.1%
(2) ちょっとした買い物や ゴミ出し	6.5%	17.1%	61.5%	15.0%	12.4%	81.2%	6.3%	n=679	24.6%	16.5%	57.3%	1.6%
(3) 食事や掃除・洗濯の手伝い	6.0%	15.4%	63.2%	15.4%	7.9%	85.0%	7.1%	n=711	16.2%	20.8%	61.3%	1.7%
(4) 通院の送迎や外出の手助け	8.1%	18.1%	59.0%	14.8%	9.4%	83.6%	6.9%	n=699	20.3%	18.6%	59.2%	1.9%
(5) 子どもの預かり	12.7%	23.3%	46.3%	17.7%	16.9%	76.1%	7.1%	n=636	19.7%	21.2%	57.7%	1.4%
(6) 話し相手や相談相手	7.1%	22.8%	54.5%	15.6%	17.8%	75.6%	6.6%	n=632	23.7%	15.3%	59.0%	1.9%
(7) 災害時避難の手助けの準備	19.4%	27.9%	37.9%	14.8%	3.5%	90.0%	6.6%	n=752	43.6%	6.5%	48.3%	1.6%
(8) 具合がよくないときに、 病院等に連絡する	17.5%	26.0%	42.3%	14.2%	9.4%	84.3%	6.2%	n=705	42.7%	7.2%	48.5%	1.6%

問29 調布市では、人々が高齢者や障害者への理解を深め、市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう地域社会の実現を目指しています。このような「市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう」という考え方について、あなた自身は理解していると思いますか。(1つに○)
(N=836)

1. 理解している	14.4%
2. どちらかといえば、理解している	43.9%
3. どちらかといえば、理解していない	17.8%
4. 理解していない	8.9%
5. 分からない	12.6%
無回答	2.5%

福祉のまちづくりについておたずねします

問30 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。
((1)~(7)までそれぞれ1つに○)
(N=836)

	思 つ と も そ う	そ う 思 う	思 わ な い あ ま り そ う	そ う 思 わ な い	無 回 答
(1) 障害のある人とない人が、地域社会の中でともに生きるのが当然の姿である	37.7%	54.4%	4.7%	0.6%	2.6%
(2) ホームレスの問題は、本人だけでなく、社会全体の問題だと感じる	16.0%	48.9%	26.1%	5.9%	3.1%
(3) 生活保護を受けている人に対する偏見や差別があると感じる	7.3%	39.7%	40.0%	9.0%	4.1%
(4) ひきこもり*やニート*は、本人だけでなく、社会全体の問題だと感じる	9.2%	42.7%	34.6%	10.2%	3.3%
(5) 虐待を防ぐために、地域でのつながりが重要である	31.9%	55.7%	7.8%	1.1%	3.5%
(6) DV*被害を防ぎ、被害者を支援するために、地域でのつながりが重要である	23.8%	54.8%	16.1%	1.7%	3.6%
(7) ひとり親家庭の自立を支援するために、地域でのつながりが重要である	19.4%	60.2%	14.5%	2.0%	3.9%

※「ひきこもり」、「ニート」

若者のうち、学校や仕事に行かず、求職活動などをしていない者を指しています。

※「DV」(ドメスティック・バイオレンス)

配偶者や恋人など親密な関係にある(またはあった)者から振るわれる暴力。

身体的な暴力だけでなく、精神的、経済的、性的な暴力などあらゆる暴力を含みます。

問31 あなたは、調布市が障害のある人に配布していて、災害時や日常生活の中で困ったときのその人の緊急連絡先や必要な支援内容などが記載されている「ヘルプカード」について知っていますか。(1つに○)
(N=836)



1. 内容も含めて知っている	9.0%
2. 名前程度は知っているが、内容は知らない	13.6%
3. 全く知らない	75.5%
無回答	1.9%

問32 あなたは、平成24年10月から「障害者虐待防止法」が施行されたことを、知っていましたか。(1つに○)
(N=836)

1. 知っていた	13.9%
2. 知らなかった	83.4%
無回答	2.8%

→ 問 32-1 「1. 知っていた」と答えた方にお聞きします。調布市では障害福祉課が「障害者虐待防止センター※」として、障害者虐待の通報窓口となっていることを知っていましたか。(1つに○)
(n=116)

1. 知っていた	19.8%
2. 知らなかった	80.2%
無回答	0.0%

※ 「障害者虐待防止センター」

障害者の虐待に関する通報を受けるための窓口として、各市町村が設置しています。センターで通報を受けた場合は、立ち入り調査等による事実確認や、一時保護などの措置を行います。

調布市の保健福祉施策についておたずねします

問33 あなたは、調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報を、どこから入手していますか。(いくつでも○)

(N=836)

1. 家族, 知人からの口コミ	14.7%
2. 相談窓口(市役所, 行政機関, 行政事務所など)	7.8%
3. 広報紙などの印刷物 (市報ちょうふ, 暮らしの便利帳, 市議会だより, ふくしの窓(社会福祉協議会の会報)など)	63.6%
4. 地域の掲示板のポスター, 回覧板	10.3%
5. テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ	2.6%
6. インターネットサイト(パソコン)	18.5%
7. インターネットサイト(携帯電話, スマートフォン, タブレット端末)	8.6%
8. その他〔具体的に: 〕	0.5%
9. 特にない・情報は入手していない	23.8%
無回答	1.8%

問34 あなたが、調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報として、今後最も活用したいのは次のうちどれですか。(1つに○)

(N=836)

1. 家族, 知人からの口コミ	7.7%
2. 相談窓口(市役所, 行政機関, 行政事務所など)	6.5%
3. 広報紙などの印刷物 (市報ちょうふ, 暮らしの便利帳, 市議会だより, ふくしの窓(社会福祉協議会の会報)など)	54.3%
4. 地域の掲示板のポスター, 回覧板	1.6%
5. テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ	1.4%
6. インターネットサイト(パソコン)	13.9%
7. インターネットサイト(携帯電話, スマートフォン, タブレット端末)	11.7%
無回答	3.0%

問35 調布市では、健康管理や介護予防のためにさまざまな健康づくり事業を行っています。どのような健康づくり事業に参加したいですか。

(1) あなたは将来に向けて、どのような種類の健康づくり事業に参加してみたいですか。
(いくつでも○)

(N=836)

1. 交流（趣味、レクリエーションなど）	34.8%
2. 骨折予防などの寝たきり予防生活機能の維持・向上	13.0%
3. 運動・スポーツ活動	53.9%
4. 筋力トレーニング	32.4%
5. 生活習慣病の予防	28.0%
6. 認知症の予防、ケア	21.4%
7. 歯科・口腔ケア	17.1%
8. 栄養や食事の指導	20.9%
9. その他〔具体的に：	〕 0.4%
10. 特にない	16.1%
無回答	1.9%

(2) どのような形式の健康づくり事業に参加してみたいですか。(1つに○)

(N=836)

1. 講演会などの話を聞く形式の事業	7.5%
2. 実際に体を動かす実践形式の事業	33.4%
3. 1と2を組み合わせた形式の事業	35.0%
4. その他〔具体的に：	〕 0.5%
5. 特にない	20.8%
無回答	2.8%

問36 調布市において、今後、特に力を入れていくべきと思う保健福祉施策(サービス)は何ですか。(いくつでも○)

(N=836)

1. 少子化対策や子育て支援施策	48.6%
2. 障害者（児）支援施策	23.3%
3. 高齢者の介護や生活支援施策	48.1%
4. 市民の健康づくり施策	23.7%
5. 市民の生きがいや社会参加への支援施策	20.8%
6. ボランティア活動の振興・支援施策	16.0%
7. 住まいや住環境の整備	28.6%
8. 就労支援施策	23.9%
9. 高齢者や障害者等に配慮したまちづくり施策	37.0%
10. その他〔具体的に：	〕 2.3%
11. 特にない	2.6%
12. 分からない	7.1%
無回答	2.3%

問37 調布市の保健福祉施策(サービス)をより充実していくために、あなたが重要と思う取組はどれですか。(いくつでも○)
(N=836)

1. 相談や情報提供体制の充実	50.5%
2. 利用者の立場や権利を保護・擁護する制度の充実	20.2%
3. 住宅サービス(ホームヘルプサービス, デイサービスなど)の質と量の確保	37.7%
4. 入所施設サービスの質と量の確保	34.0%
5. 市民グループやボランティア団体などの育成・活動支援	19.6%
6. 市民相互の助け合い・支え合い活動の活性化	25.2%
7. 民間活力の導入による福祉サービスの確保と活性化	21.1%
8. 市民・関連団体・行政の連携と協働の推進	18.4%
9. 市民への福祉意識の啓発	18.7%
10. その他〔具体的に : 〕	1.3%
11. 特にない	2.0%
12. 分からない	11.6%
無回答	2.4%

地域づくりや地域福祉施策についておたずねします

問38 最後に、地域づくりに必要なことや調布市の地域福祉施策についてのご要望・ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

調布市民福祉ニーズ調査 高齢者の生きがいと地域生活に関する調査

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび調布市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、今後の高齢者施策等のあり方を検討する際の資料とするため、「高齢者の生きがいと地域生活に関する調査」を実施することとなりました。この調査は、平成25年10月1日現在、調布市にお住まいの65歳以上の市民の皆様の中から、2,000人を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成25年10月 調布市長 長友貴樹

裏面の「記入についてのお願い」をよくお読みのうえ、ご記入をお願いします。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

ご記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月4日(月)までに郵便ポストに投函してください。

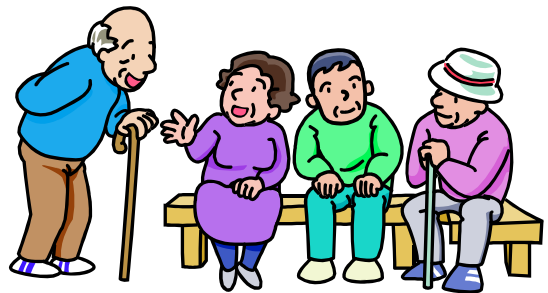
調査についてご質問などがありましたら、

下記までお問い合わせください。

問合せ先

調布市 福祉健康部 高齢者支援室

電話：042-481-7149



記入についてのお願い

1. 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。
調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。なお、ご本人が回答困難な場合、入院中などの場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[]内に具体的な答えを記入してください。

あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします

※ここでいう「あなた」とは調査票をお送りしている方のことです。

※以下の質問については平成 25 年 10 月 1 日現在の状況をもとに回答してください。

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。(1つに○)
(N=1,459)

1. 本人(代筆可) 91.8% 2. 家族 5.4% 3. その他 0.1% 無回答 2.6%

問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)
また、平成 25 年 10 月 1 日現在の年齢をご記入ください。
(N=1,459)

1. 男性 43.2% 2. 女性 54.9% 無回答 1.9% [平均 74.9] 歳 ※数字を記入

65～69 歳	23.5%	75～79 歳	19.8%	85 歳以上	9.5%
70～74 歳	24.5%	80～84 歳	14.3%	無回答	8.3%

問3 あなたは、どこで生活していますか。現在の状況をお答えください。(1つに○)
(N=1,459)

1. 自宅で生活している(持ち家・借家・賃貸・間借りを問わず)	94.0%
2. 病院に入院中	1.2%
3. その他〔具体的に：〕	2.9%
無回答	1.9%

問4 現在、あなたがいっしょに暮らしているご家族の構成は、次のどれですか。(1つに○)
(N=1,459)

1. ひとり暮らし	20.3%
2. 夫婦のみ(配偶者は 65 歳以上)	39.1%
3. 夫婦のみ(配偶者は 65 歳未満)	4.5%
4. 上記(1～3)以外で世帯全員が 65 歳以上	2.3%
5. 上記(1～4)以外	31.4%
無回答	2.5%

問5 現在、あなたがお住まいの地域を、記入例を参考に町名を記入してください。
(N=1,459)

第1地域	4.7%	第3地域	8.6%	第5地域	6.4%	第7地域	18.2%	第9地域	8.4%
第2地域	15.6%	第4地域	6.6%	第6地域	8.8%	第8地域	11.5%	第10地域	8.1%
							無回答		3.1%

問6 あなたは現在、どのような仕事をしていますか。(1つに○)
(N=1,459)

1. 常勤の社員・職員	2.8%
2. 非常勤、嘱託、パート、アルバイトなど	10.9%
3. 自営業主、自営業手伝い	8.4%
4. 仕事はしていない	75.6%
無回答	2.3%

問12 あなたは、身近な方に相談しても困りごとが解決しなかったとき、次のようなところに相談したことがありますか。(いくつでも○)

(N=1,459)

1. 民生委員・児童委員	1.5%
2. 市役所	12.7%
3. 社会福祉協議会	1.6%
4. 調布ゆうあい福祉公社	2.9%
5. 地域包括支援センター	5.8%
6. NPO 団体〔具体的に：〕	0.0%
7. ボランティア〔具体的に：〕	0.1%
8. ケアマネジャー・ヘルパーなどの民間事業者	7.1%
9. かかりつけ医や保健師など医療関係者	13.6%
10. その他〔具体的に：〕	2.7%
11. 相談できる人（機関）はいない	4.8%
12. 困りごとが解決しなかったことはない	9.3%
13. 困っていることはない	42.6%
無回答	9.9%

健康・医療についておたずねします

問13 あなたが、「高齢者」と意識する年齢は、何歳からだと思っていますか。あなたの意識にもっとも近いものをお答えください。(1つに○)

(N=1,459)

1. 60 歳以上	1.2%	4. 75 歳以上	33.9%
2. 65 歳以上	6.3%	5. 80 歳以上	23.2%
3. 70 歳以上	33.6%	無回答	1.8%

問14 あなたの健康状態は、いかがですか。もっとも近いものをお答えください。(1つに○)

(N=1,459)

1. 大変健康である	6.6%
2. おおむね健康で普通に生活している	65.3%
3. 病気や障害がある	26.6%
無回答	1.4%

問 14-1 病気や障害は日常生活にどのような影響がありますか。(1つに○)

(n=388)

1. 日常生活や外出は一人できる	55.9%
2. 家の中の生活はほぼ一人できるが外出は一人できない	17.3%
3. 家の中の生活で手助けを必要とする	12.1%
4. 家の中で手助けを必要とし、日中はベッド（ふとん）で過ごす時間が多い	7.0%
5. トイレ、食事、着替えなどに手助けを必要とし、ほとんど寝たきりである	5.7%
無回答	2.1%

問15 あなたには、「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」*はいますか。
(それぞれ1つに○)

(N=1,459)	いる	いない	無回答
(1) かかりつけ医 (診療所・医院)	62.1%	14.9%	23.0%
(2) かかりつけ医 (病院)	47.7%	20.9%	31.4%
(3) かかりつけ歯科医	65.3%	13.8%	21.0%
(4) かかりつけ薬局	47.8%	22.9%	29.3%

※「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」

ここでは、あなたの生活の状況などを理解して、健康や病気のことを日ごろから、気軽に相談できるような身近な医師、歯科医師、薬局をさします。

問16 あなたは、現在の生活に「はりあい」や「楽しみ」を感じていますか。(1つに○)
(N=1,459)

1. とても感じる	26.9%
2. 少し感じる	35.8%
3. あまり感じない	25.6%
4. 感じない	6.4%
無回答	5.2%

問 16-1 「はりあい」や「楽しみ」を感じるのはどのようなときですか。
ご自由にお書きください。

問17 あなたは今後、仕事をしたい(続けたい)ですか。(1つに○)
(N=1,459)

1. 仕事をしたい (続けたい)	22.0%
2. 仕事をしたいが、仕事がないのでできない	7.9%
3. 仕事をしたいが、からだの具合が悪いのでできない	12.4%
4. 仕事をする必要がない・したくない	47.2%
無回答	10.6%

問 17-1 問 17 で1～2と答えた方におたずねします。あなたは、自分の知識や技能を活かしながら、地域に貢献できる仕事をしたいと思いませんか。(1つに○)
(n=436)

1. したいと思う	77.8%
2. したいとは思わない	17.2%
無回答	5.0%

問18 あなたは、健康や体調を維持するために、市役所から支援して欲しいと思うことはありますか。(いくつでも○)

(N=1,459)

1. 広報や健康教室などによる情報や知識の提供	23.0%
2. 介護予防に関する相談窓口の充実	14.2%
3. 心身の機能に関する健康診断の実施	19.6%
4. 一人ひとりにあった介護予防プラン（生活等の改善プラン）の作成	9.3%
5. 介護予防のための教室・講演会などの開催	9.5%
6. さまざまな趣味・余暇活動や地域活動などの場所や機会の提供	24.1%
7. その他〔具体的に： 〕	3.9%
8. 特にない	38.7%
無回答	8.4%

外出についておたずねします

問19 あなたは、買い物や通院などの生活に必要な外出や、余暇や仕事などのために必要な外出は、どれくらいしていますか。

(1) 買い物や通院などの生活に必要な外出（1つに○）

(N=1,459)

1. ほぼ毎日	40.7%
2. 週3～4日程度	26.9%
3. 週1～2日程度	16.0%
4. 1か月に1～3回	8.6%
5. ほとんどしない	4.4%
無回答	3.4%

(2) 余暇や仕事などのために必要な外出（1つに○）

(N=1,459)

1. ほぼ毎日	27.3%
2. 週3～4日程度	22.3%
3. 週1～2日程度	19.9%
4. 1か月に1～3回	10.5%
5. ほとんどしない	14.5%
無回答	5.6%

問20 あなたは、外出や移動について不安や問題を感じていますか。(1つに○)

(N=1,459)

1. とても感じる	8.2%
2. 少し感じる	18.4%
3. あまり感じない	33.7%
4. 感じない	34.5%
無回答	5.1%

問 20-1 外出に関する不安や問題は、主にどのようなことですか。(1つに○)

(n=388)

1. 足、腰が痛いなど身体の調子が悪い	60.8%
2. 介助者が確保できない	2.1%
3. バリアフリー※でない(階段がある、段差があるなど)	7.0%
4. 外出にお金がかかる	4.6%
5. 家族や関係者に手間をかける	9.0%
6. 出かける先の様子や行き方の情報がない	2.1%
7. その他〔具体的に： 〕	10.3%
無回答	4.1%

※「バリアフリー」

ここでは、高齢の方が生活するうえで、生活に支障が出ないように障害を取り除くことです。たとえば、家の中の段差をなくすこと、階段に手すりを取り付けることのほか、駅中にエスカレーターを設置することなどが挙げられます。

問21 あなたが、もっと外出するために必要なものはどのようなことですか。(1つに○)

(N=1,459)

1. 介護者・介護サービス	3.4%	6. 公共交通機関のバリアフリー化	5.8%
2. 便利なタクシーや移動サービス	8.2%	7. 一緒に外出する仲間	5.8%
3. 経済的な余裕	18.0%	8. その他〔具体的に： 〕	3.5%
4. 家族の理解	4.0%	9. 特にない	46.2%
5. 外出に関する情報	2.7%	無回答	7.3%

介護の状況や介護保険についておたずねします

問22 あなたは現在、介護を受けていますか。(いくつでも○)

(N=1,459)

1. 家族や親族から介護を受けている	→ 問22-1へ	16.5%
2. 介護保険制度を利用して介護を受けている		7.7%
3. ボランティアから介護を受けている		0.2%
4. その他の人から介護を受けている〔具体的に： 〕		1.3%
5. 介護を受けていない		76.0%
無回答		3.4%

問 22-1 問 22 で1と答えた方におたずねします。主な介護者はどなたですか。

(1つに〇)

(n=241)

1. 配偶者	43.6%	5. 兄弟・姉妹	4.1%
2. 娘	26.6%	6. 親	0.0%
3. 息子	12.9%	7. その他〔具体的に： 〕	8.7%
4. 娘・息子の配偶者	4.1%	無回答	0.0%

問23 あなたは、介護が必要になったとき、どこで生活したいと考えていますか。(1つに〇)

(N=1,459)

1. 自宅で家族などの介護を受けながら生活したい	22.3%
2. 自宅で在宅サービス（通い・訪問を含む）を受けながら生活したい	29.1%
3. 特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設に入所したい	13.8%
4. その他〔具体的に： 〕	1.2%
5. 自宅で生活したいが、人の世話にはなりたくない	14.3%
6. 分からない	16.2%
無回答	3.2%

問24 あなたのご家庭で自宅療養を続けるには、何が必要ですか。(いくつでも〇)

(N=1,459)

1. 今のままで差しつかえない	20.2%
2. 訪問医の確保	36.8%
3. より手厚い訪問看護サービス※1	25.6%
4. より手厚い訪問介護サービス※2	26.7%
5. より手厚い通所介護サービス※3	14.7%
6. 体調急変時の病床の確保	28.1%
7. 医療・介護以外の見守り（安否確認）体制	8.9%
8. 緊急通報システム※4	28.4%
9. 家族介護者の休息のためのサービス	17.5%
10. 地域住民（ご近所）同士の支え合い	8.3%
11. その他〔具体的に： 〕	3.6%
無回答	12.3%

※1「訪問看護サービス」

看護師などが、病気等の理由で自宅などで療養している患者宅を訪問し、健康状態の観察や医療的指導を行うことです。

※2「訪問介護サービス」

ホームヘルパーなどが、介護が必要な高齢者などのお宅に訪問し、食事や入浴のお世話、掃除や洗濯などの介助を行うことです。

※3「通所介護サービス」

介護が必要な高齢者などが、デイサービスセンターに出向いて、入浴や体操・レクリエーションなどを行うことです。

※4「緊急通報システム」

自宅に専用通報機を設置し、緊急時に通報機のボタンを押すことで、民間事業者の救助や救急車による救助を受けられるサービスです。

近所づきあいや地域のつながりについておたずねします

問25 あなたは、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)

(N=1,459)

1. 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている	13.6%
2. 立ち話をする程度のつきあいをしている	40.8%
3. あいさつをする程度のつきあいをしている	33.7%
4. 近所づきあいをしていない	10.1%
無回答	1.9%

→ 問 25-1 近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。(いくつでも○)

(n=148)

1. 仕事や家事などで忙しく時間がないから	6.8%
2. 引っ越してきて間もないから	16.9%
3. 普段つきあう機会がないから	45.9%
4. 同世代の人が近くにいないから	10.1%
5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから	23.0%
6. あまりかわりをもちたくないから	20.3%
7. その他〔具体的に： 〕	20.9%
無回答	2.0%

地域福祉活動等の取組についておたずねします

問26 次のような地域活動・ボランティア活動等について、あなたが興味のある活動はありますか。(いくつでも○)

(N=1,459)

1. 子育て世帯の支援・青少年の健やかな成長のための活動	7.7%
2. ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、介護が必要な高齢者を支援する活動	13.4%
3. 障害のある人（子ども）や病気の人を支援する活動	5.8%
4. 地域の伝統や文化を伝える活動	10.1%
5. 交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動	10.4%
6. 災害時に救援・支援をする活動	12.3%
7. 地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動	13.9%
8. 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	13.4%
9. その他〔具体的に： 〕	4.3%
10. 特に興味のある活動はない	38.9%
無回答	11.8%

問27 あなたは、実際に問 26 のような地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいますか。

(1つに〇)

(N=1,459)

1. 現在、継続的に取り組んでいる	9.4%
2. たまに、取り組むことがある	3.6%
3. 以前取り組んだことがあるが、現在はほとんどしていない	13.9%
4. 取り組んだことはない	62.3%
無回答	10.8%

問28 あなたは、今後、問 26 のような地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。(1つに〇)

(N=1,459)

1. 積極的に、取り組んでいきたい	2.0%
2. できるだけ、取り組んでいきたい	6.5%
3. 機会があれば、取り組んでもよい	22.5%
4. 取り組みたいが、できない	30.0%
5. あまり取り組みたくない	26.0%
無回答	13.0%

問 28-1 どのような条件であれば、参加・活動しやすいと思いますか。(いくつでも〇)
(n=453)

1. 活動情報の提供があること	32.5%
2. 活動や団体を紹介してくれること	14.8%
3. 友人等といっしょに参加できること	17.0%
4. 時間や期間にあまりしぼられないこと	61.8%
5. 身近なところで活動できること	58.1%
6. 適切な指導者やリーダーがいること	25.8%
7. 身体的な負担が少ないこと	32.7%
8. 金銭的な負担が少ないこと	37.7%
9. その他〔具体的に： 〕	2.0%
10. 分からない	0.9%
無回答	0.9%

住民参加の地域づくりについておたずねします

問29 あなたは暮らしの中で、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)は必要だと思いませんか。(1つに○)

(N=1,459)

1. とても必要だと思う	32.7%
2. どちらかといえば、必要だと思う	51.8%
3. どちらかといえば、必要だと思わない	6.4%
4. 必要ないと思う	2.7%
無回答	6.4%

問30 あなたがお住まいの地域には、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)はあると感じますか。(1つに○)

(N=1,459)

1. とても感じる	8.4%	4. 感じない	15.5%
2. 少し感じる	35.4%	無回答	6.6%
3. あまり感じない	34.2%		

問31 あなたは介護が必要になったときに、次のような手助けをしてほしいと思いませんか。

(それぞれ1つに○)

(N=1,459)

(1)～(8)までの手助けについて、該当する項目に○を記入してください。

	してほしい	してほしい 思ったことがある	してほしいと思わない	無回答
(1) 安否確認の声かけ	42.0%	15.1%	13.3%	29.6%
(2) ちょっとした買い物やゴミ出し	27.0%	18.2%	21.7%	33.2%
(3) 食事や掃除・洗濯の手伝い	27.5%	15.8%	23.8%	33.0%
(4) 通院の送迎や外出の手助け	32.2%	15.6%	19.4%	32.8%
(5) 子どもの預かり	4.0%	4.3%	35.1%	56.5%
(6) 話し相手や相談相手	17.7%	17.2%	24.7%	40.4%
(7) 災害時避難の手助けの準備	35.6%	18.8%	12.1%	33.6%
(8) 具合がよくないときに、病院等に連絡する	37.7%	16.9%	13.2%	32.1%

災害時の対応についておたずねします

問32 あなたは、災害や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか。

(1つに○)(N=1,459)

1. 一人で判断し、避難できる	74.1%
2. 一人で判断できるが、避難はできない	13.2%
3. 一人では判断できないし、避難もできない	7.5%
無回答	5.2%

→ 問 32-1 災害や火災など緊急時に避難する際に、手助けを頼める人はいますか。(1つに○)

(n=302)

1. いる	56.6%
2. いない	25.8%
3. 分からない	15.2%
無回答	2.3%

問33 あなたの家に一番近い広域避難場所を知っていますか。(1つに○)

(N=1,459)

1. 知っている	72.4%
2. 知っているが、経路（行き方）は知らない	2.9%
3. 知らない	19.9%
無回答	4.7%

問34 あなたは、災害時に避難を助けたり、避難状況を確認するために、自治会、地区協議会※1、防災市民組織※2 へ、住所・氏名・連絡先などの情報を事前に知らせておくことについて、どう思いますか。(1つに○)(N=1,459)

1. 住所・氏名・連絡先ならば、知らせてもいい	74.4%
2. 知らせたくない	3.3%
3. 分からない	16.9%
無回答	5.4%

※1「地区協議会」

おおむね小学校区をひとつのコミュニティエリアとして、自治会・子ども会・民生委員・PTA・健全育成・学校開放・消防団・商店会・ボランティアサークルなどの地域の活動団体や個人を横糸で結んだネットワーク組織です。

※2「防災市民組織」

発災直後の人命救助や初期消火のため、「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯感に基づき、地域で自主的に結成された組織です。

問35 あなたは、災害時に手助けが必要な地域の方に対してできることはありますか。(いくつでも○)

(N=1,459)

1. 避難所での支援活動（食糧・日用品の運搬等や炊き出しの手伝い）	34.9%
2. ひとり暮らし高齢者や手助けの必要な方への声掛け	39.1%
3. 子どものいる家族への手助け	16.5%
4. けが人の手当て	8.0%
5. 水や食糧の提供	14.9%
6. 特にできることはない	31.5%
7. その他〔具体的に： 無回答	3.4% 9.4%

高齢者の権利擁護についておたずねします

問36 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口として以下のようなものがありますが、あなたが知っていたものはありますか。((1)～(8)までそれぞれ1つに○)

(N=1,459)

		知っていた	知らなかった	無回答
(1)	成年後見制度 判断能力が不十分であるために意思決定が困難な人の判断能力を、後見人等が補っていくことによって、法的に保護する制度です。	68.5%	21.4%	15.1%
(2)	日常生活自立支援事業（旧名称：地域福祉権利擁護事業） 地域福祉権利擁護センターが行う、判断能力が不十分な人に対して、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理等を支援する仕組みです。	28.2%	53.9%	17.9%
(3)	見守りネットワーク（みまもっと） 地域住民、協力団体等が、地域の高齢者等の異変や生活上の支障等に気づいたら、その情報を地域包括支援センターに連絡する活動です。	32.8%	50.1%	17.1%
(4)	高齢者虐待防止法 高齢者を虐待から守ることを目的として平成18年4月に施行されています。高齢者虐待とは、身体的暴行のほか、心理的外傷を与える言動、世話の放棄、財産の不当な処理等も含まれます。	36.5%	46.1%	17.5%
(5)	調布市社会福祉協議会 地域の中で安心した生活を送れるように、福祉関係者や地域住民が主体となり、社会福祉と保健衛生などの活動をしています。グリーンホールの隣にあります。	56.3%	29.7%	14.0%

次ページへつづく

		知っていた	知らなかった	無回答
(6)	多摩南部成年後見センター	6.5%	73.5%	19.9%
(7)	調布市消費生活相談室	38.5%	44.6%	16.9%
(8)	地域包括支援センター	39.7%	43.5%	16.8%

問37 あなたのまわり(あなたご本人も含む)に、権利擁護に関すること(下記のような例のこと)でお困りと思われる方はいらっしゃいますか。(1つに○)
(N=1,459)

権利擁護で困っている例

- ・金銭管理ができない
- ・悪質商法にだまされた
- ・行政や金融機関などへの窓口手続きができない
- ・福祉サービスの利用に対する苦情が言えない
- ・土地の権利書など重要書類の管理ができない

1. いる	→ 問37-1、37-2へ	9.0%
2. いない		74.3%
無回答		16.7%

問 37-1 それはどなたですか。(いくつでも○)
(n=131)

1. 本人	32.1%	6. 兄弟姉妹	6.1%
2. 配偶者	34.4%	7. 祖父母	0.0%
3. 親	5.3%	8. その他〔具体的に： 〕	5.3%
4. 子ども(子どもの配偶者を含む)	38.9%	無回答	3.1%
5. 孫(孫の配偶者を含む)	3.1%		

問 37-2 それはどのような事例ですか。(いくつでも○)

(n=131)

1. 金銭管理ができない	27.5%
2. 悪質商法にだまされた	7.6%
3. 行政や金融機関などへの窓口手続きができない	25.2%
4. 福祉サービスの利用に対する苦情が言えない	13.0%
5. 土地の権利書など重要書類の管理ができない	16.8%
6. その他〔具体的に： 〕	5.3%
無回答	45.0%

調布市の高齢者保健福祉施策についておたずねします

問38 調布市では、人々が高齢者や障害者への理解を深め、市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう地域社会の実現を目指しています。このような「市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう」という考え方について、あなた自身は理解していると思いますか。(1つに○)

(N=1,459)

1. 理解している	20.6%
2. どちらかといえば、理解している	36.9%
3. どちらかといえば、理解していない	12.6%
4. 理解していない	5.3%
5. 分からない	15.0%
無回答	9.5%

問39 調布市では、高齢者向けに行っている各種事業を市民にお知らせするために、毎年、高齢者保健福祉サービスを掲載した冊子「くらしの案内～シルバー編～」を発行しています。このことを知っていましたか。(1つに○)

(N=1,459)

1. 発行は知っており、毎年入手している	7.1%
2. 発行は知っており、毎年ではないが入手している	8.6%
3. 発行は知っていたが、入手していない	13.0%
4. 知らなかった	62.3%
5. その他〔具体的に： 〕	0.5%
無回答	8.5%

問40 あなたと、あなたのまわりに、介護保険サービスや市が行う高齢者向けサービスなどの公的な福祉サービスでは対応できないことで困っている方はいらっしゃいますか。

(1つに○)

(N=1,459)

1. いる	→ 問 40-1へ	1.7%
2. いない		81.4%
無回答		16.9%

問43 高齢者がいきいきとした生活を送ることができる地域社会を実現するための取組などについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

ちょうふしみんふくし ちょうさ
調布市民福祉ニーズ調査
しょうがい かた ちいきせいかつ かん ちょうさ
障害のある方の地域生活に関する調査
ちょうさ ねが
調査についてのお願い

しみん みな ひ しせいほってん りかい きょうりやく あつ
市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお
れいもう
礼申しあげます。

このたび調布市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、今後の障害者福祉
しきくとう かた けんとう さい しりょう しょうがい かた ちいきせいかつ かん
施策等のあり方を検討する際の資料とするため、「障害のある方の地域生活に関する
ちょうさ じっし ちょうさ へいせい ねん がつ にちげんざい ちょうふし
調査」を実施することとなりました。この調査は、平成25年10月1日現在、調布市に
す しんたいしょうがいしゃてちょう あい てちょう せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう も さい
お住まいの身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの18歳
いじょう かた なか にん むさくい えら ねが しょうぼう
以上の方の中から、1,450人を選ばせていただき、ご意見やご要望をおうか
がいまするものです。

かいとう ないよう とうけいてき しょうり ちょうさもくてきがい しょう
ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することは
ありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、
きょうりやく ねが もう
ご協力をお願い申しあげます。

へいせい ねん がつ ちょうふしちょう なが とも よし き
平成25年10月 調布市長 長 友 貴 樹

りめん きにゅう ねが よ きにゅう ねが
裏面の「記入についてのお願い」をよくお読みのうえ、ご記入をお願いします。

ちょうさひょう へんしんようふうとう じゅうしょ しめい きにゅう ひつよう
調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

きにゅう お ちょうさひょう どうふう へんしんようふうとう きてて ふうよう い
ご記入が終わりましたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

がつ にち もく
11月7日(木)までにゆうびん とうかん
郵便ポストに投函してください。

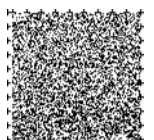
ちょうさ しつもん かき と あ
調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

ひとり かいとう むすか ばあい そうだん
また、お一人で回答が難しい場合などは、ご相談ください。

といあわ さき
問合せ先

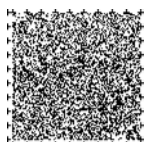
ちょうふし ふくしけんこうぶ しょうがいふくしか
調布市 福祉健康部 障害福祉課

でんわ
電話：042-481-7094



記入についてのお願い

1. 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。
調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。なお、ご本人が回答困難な場合、入院中などの場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. 答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
 の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[]内に具体的な答えを記入してください。



あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします

※ここでいう「あなた」とは調査票をお送りしている方のことです。

※ご本人が回答困難な場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。

※平成25年10月1日現在の状況をもとに回答してください。

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。(1つに〇)

身体(N=617)	1. 本人(代筆可) 83.6%	2. 家族 12.5%	3. その他 0.2%	無回答 3.7%
知的(N=156)	1. 本人(代筆可) 41.7%	2. 家族 55.1%	3. その他 0.6%	無回答 2.6%
精神(N=166)	1. 本人(代筆可) 84.9%	2. 家族 12.7%	3. その他 0.0%	無回答 2.4%

問2 あなた(あて名のご本人)の性別をお答えください。(1つに〇)

また、平成25年10月1日現在の年齢をご記入ください。

身体(N=617)	1. 男性 49.8%	2. 女性 48.9%	無回答 1.3%	満(平均 71.1)歳
知的(N=156)	1. 男性 62.2%	2. 女性 37.2%	無回答 0.6%	満(平均 36.1)歳
精神(N=166)	1. 男性 45.2%	2. 女性 54.2%	無回答 0.6%	満(平均 46.3)歳

※数字を記入

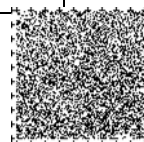
身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神	身体	知的	精神
10歳代	0.3%	3.2%	0.6%	50歳代	7.1%	5.8%
20歳代	1.0%	31.4%	5.4%	60歳代	21.1%	5.8%
30歳代	2.3%	27.6%	26.5%	70歳代	29.8%	1.9%
40歳代	4.4%	21.2%	30.7%	80歳以上	28.4%	0.0%
				無回答	5.7%	3.2%

問3 現在、あなたがいっしょに暮らしているご家族は、あなたからみて、どなたですか。(いくつでも〇) 身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. ひとり暮らし (グループホーム、ケアホーム等で暮らしている場合を含む)	20.3%	7.1%	38.0%
2. 配偶者	55.9%	2.6%	19.3%
3. 親	6.2%	85.3%	34.9%
4. 子ども(子どもの配偶者を含む)	32.1%	2.6%	7.8%
5. 孫(孫の配偶者を含む)	4.7%	0.0%	0.6%
6. 兄弟姉妹	3.1%	35.3%	11.4%
7. 祖父母	0.3%	7.7%	0.6%
8. その他	4.1%	3.2%	5.4%
無回答	2.4%	1.3%	3.0%

問3-1、2へ



問 3-1 問3で2～8と答えた方におたずねします。現在いっしょに暮らしているご家族はあなたを含めて何人ですか。数字をご記入ください。

(身体n=477)	(知的n=143)	(精神n=98)	※数字を記入
(平均 2.7)人	(平均 3.3)人	(平均 2.9)人	

問 3-2 問3で2～8と答えた方におたずねします。あなた(あて名のご本人)の主に介護や支援をしているご家族はどなたですか。あて名のご本人からみた続柄で回答してください。(1つに○)
また、○をつけた方の性別にも○をつけて、年齢をご記入ください。

身体(n=477)

1. 配偶者	60.0%	(n=286)	(男性37.1%・女性56.3% 無回答6.6%)	(平均69.5歳)
2. 親	5.9%	(n= 28)	(男性 3.6%・女性92.9% 無回答3.6%)	(平均72.8歳)
3. 子ども (子どもの配偶者を含む)	18.0%	(n= 86)	(男性45.3%・女性48.8% 無回答5.8%)	(平均50.4歳)
4. 孫(孫の配偶者を含む)	0.2%	(n= 1)	(男性100.0%・女性 0.0% 無回答0.0%)	(平均21.0歳)
5. 兄弟姉妹	2.1%	(n= 10)	(男性40.0%・女性50.0% 無回答10.0%)	(平均66.8歳)
6. 祖父母	0.0%	(n= 0)	(男性 0.0%・女性 0.0% 無回答0.0%)	(平均 - 歳)
7. その他の親族	1.0%	(n= 5)	(男性40.0%・女性40.0% 無回答20.0%)	(平均51.5歳)
8. いない	6.9%	(n= 33)	無回答 5.9%	

知的(n=143)

1. 配偶者	2.8%	(n= 4)	(男性75.0%・女性 0.0% 無回答25.0%)	(平均57.0歳)
2. 親	83.2%	(n=119)	(男性18.5%・女性77.3% 無回答4.2%)	(平均63.2歳)
3. 子ども (子どもの配偶者を含む)	0.0%	(n= 0)	(男性 0.0%・女性 0.0% 無回答0.0%)	(平均 - 歳)
4. 孫	0.0%	(n= 0)	(男性 0.0%・女性 0.0% 無回答0.0%)	(平均 - 歳)
5. 兄弟姉妹	2.8%	(n= 4)	(男性 50.0%・女性 50.0% 無回答0.0%)	(平均65.0歳)
6. 祖父母	0.0%	(n= 0)	(男性 0.0%・女性 0.0% 無回答0.0%)	(平均 - 歳)
7. その他の親族	0.0%	(n= 0)	(男性 0.0%・女性 0.0% 無回答0.0%)	(平均 - 歳)
8. いない	3.5%	(n= 5)	無回答 7.7%	

精神(n=98)

1. 配偶者	29.6%	(n= 29)	(男性58.6%・女性37.9% 無回答3.4%)	(平均52.3歳)
2. 親	46.9%	(n= 46)	(男性28.3%・女性67.4% 無回答4.3%)	(平均69.8歳)
3. 子ども (子どもの配偶者を含む)	1.0%	(n= 1)	(男性 0.0%・女性100.0% 無回答0.0%)	(平均41.0歳)
4. 孫	0.0%	(n= 0)	(男性 0.0%・女性 0.0% 無回答0.0%)	(平均 - 歳)
5. 兄弟姉妹	4.1%	(n= 4)	(男性 25.0%・女性 75.0% 無回答0.0%)	(平均64.5歳)
6. 祖父母	0.0%	(n= 0)	(男性 0.0%・女性 0.0% 無回答0.0%)	(平均 - 歳)
7. その他の親族	2.0%	(n= 2)	(男性100.0%・女性0.0% 無回答0.0%)	(平均37.5歳)
8. いない	10.2%	(n= 10)	無回答 6.1%	

問4 ^{げんざい}現在、^すあなたが^すお住まいの^{ちいき}地域はどこですか。
^{きにゅうれい}記入例を^{さんこう}参考に^{ちょうめい}【町名】、^{ちょうめ}【丁目】を^{きにゅう}ご記入ください。

	身体 (N=617)	知的 (N=156)	精神 (N=166)		身体	知的	精神
第1地域	5.8%	4.5%	4.8%	第7地域	20.4%	14.1%	15.7%
第2地域	14.3%	15.4%	20.5%	第8地域	11.0%	10.3%	10.8%
第3地域	8.3%	5.8%	8.4%	第9地域	8.4%	7.1%	7.8%
第4地域	5.0%	7.1%	2.4%	第10地域	9.6%	13.5%	10.2%
第5地域	3.9%	6.4%	4.2%	無回答	3.4%	3.2%	5.4%
第6地域	9.9%	12.8%	9.6%				

^すお住まいや^{きょじゅういこう}居住意向についておたずねします

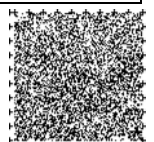
問5 あなた(あて名のご本人)は、^な今後^{ほんにん}も^{こんご}調布市に^{ちようふし}住み続けたい^すと思いますか。
 (1つに〇)身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. ^{こんご} 今後 ^す も ^す 住み ^{つづ} 続けたい ^{おも} と思う	76.3%	75.6%	62.7%
2. ^す できるだけ ^す 住み ^{つづ} 続けたい ^{おも} と思う	19.3%	17.9%	27.7%
3. ^す あまり ^す 住み ^{つづ} 続けたい ^{おも} と思わない	1.6%	3.8%	5.4%
4. ^す 住み ^{つづ} 続けたい ^{おも} と思わない	1.3%	0.0%	3.6%
無回答	1.5%	2.6%	0.6%

問5-1 ^{とい}問5で^{こた}答えた^{りゆう}理由を^{した}下の^{らん}欄に^{ごきにゅう}ご記入ください。

問6 あなたのお住まいは、^す次の^{つぎ}どれですか。(1つに〇)

	身体 (N=617)	知的 (N=156)	精神 (N=166)
1. ^も 持ち ^{いえ} 家の ^{いっこだ} 一戸建て	43.9%	49.4%	25.9%
2. ^も 持ち ^{いえ} 家の ^{しゅうごうじゅうたく} 集合住宅 (マンション・アパートなど)	18.0%	16.0%	13.3%
3. ^{ちんだい} 賃貸の ^{いっこだ} 一戸建て	1.3%	1.3%	1.2%
4. ^{ちんだい} 賃貸の ^{しゅうごうじゅうたく} 集合住宅 (マンション・アパートなど)	13.6%	13.5%	42.2%
5. ^{こうえいじゅうたく} 公営住宅 (市営・都営住宅など)	17.8%	13.5%	10.8%
6. ^{しゃたく} 社宅・ ^{こうむいんじゅうたく} 公務員住宅など	0.6%	1.3%	0.0%
7. グループホーム・ケアホーム	1.1%	1.9%	2.4%
8. その他〔 ^た 具体的に： ^{ぐたいてき}]	1.8%	1.3%	1.8%
9. ^わ 分からない	0.0%	0.6%	1.2%
無回答	1.8%	1.3%	1.2%



問7 あなたは今後、どのような住まいで生活したいと思いますか。ご希望のお住まい形態をお答えください。(1つに〇) 身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. 親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、 アパート、マンション	24.3%	42.9%	31.3%
2. 一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に 一戸建て、アパート、マンション	40.0%	11.5%	44.6%
3. グループホームやケアホーム、通勤寮	1.6%	18.6%	5.4%
4. 入所施設	5.7%	3.8%	0.6%
5. その他〔具体的に： 〕	6.8%	4.5%	9.6%
6. 分からない	15.2%	13.5%	7.2%
無回答	6.3%	5.1%	1.2%

障害の状況や日常生活についておたずねします

問8 あなた(あて名のご本人)がお持ちの手帳または受けている診断名について、あてはまるものすべてに〇をしてください。また、手帳の等級と診断名をご記入ください。

手帳の種類 身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

問8-1へ

	身体	知的	精神
1. 身体障害者手帳を持っている	98.4%	23.1%	16.9%
2. 愛の手帳を持っている	1.3%	97.4%	0.6%
3. 精神障害者保健福祉手帳を持っている	0.5%	1.9%	86.1%
4. 発達障害の診断を受けている(診断名：)	0.3%	3.2%	4.2%
5. 高次脳機能障害の診断を受けている	1.6%	0.0%	3.6%
6. 難病の診断を受けている(診断名：)	5.8%	1.9%	2.4%
無回答	1.1%	1.9%	1.8%

手帳の等級

身体障害者手帳

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答
身体 (n=607)	33.3%	11.7%	15.2%	25.9%	4.0%	4.8%	5.3%
知的 (n= 36)	25.0%	19.4%	19.4%	5.6%	0.0%	2.8%	27.8%
精神 (n= 28)	3.6%	42.9%	17.9%	7.1%	3.6%	3.6%	21.4%

愛の手帳

	1度	2度	3度	4度	無回答
身体 (n= 8)	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%	50.0%
知的 (n=152)	3.3%	23.0%	28.9%	38.8%	5.9%
精神 (n= 1)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

精神障害者保健福祉手帳

	1級	2級	3級	無回答
身体 (n= 3)	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
知的 (n= 3)	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
精神 (n=143)	8.4%	57.3%	30.1%	4.2%

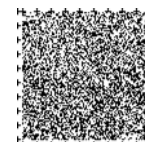
問 8-1 問8 で「1. 身体障害者手帳を持っている」と答えた方におたずねします。障害の部位はどれですか。(いくつでも○)
また、○をしたもののうち、主な障害を1つだけ選び◎をしてください。

【障害の部位】身体(n=607) 知的(n=36) 精神(n=28)

	身体	知的	精神
1. 視覚	6.1%	19.4%	0.0%
2. 聴覚	11.4%	5.6%	7.1%
3. 平衡機能	1.6%	13.9%	3.6%
4. 音声・言語・そしゃく	4.1%	27.8%	7.1%
5. 肢体不自由	44.5%	52.8%	17.9%
6. 内部 (心臓, じん臓, 肝臓, 呼吸器機能, ぼうこう・直腸, 小腸機能)	35.7%	13.9%	7.1%
7. その他〔具体的に: 〕	8.4%	25.0%	67.9%
無回答	2.0%	2.8%	3.6%

【主な障害】身体(n=607) 知的(n=36) 精神(n=28)

	身体	知的	精神
1. 視覚	4.3%	5.6%	0.0%
2. 聴覚	9.1%	2.8%	3.6%
3. 平衡機能	0.5%	5.6%	3.6%
4. 音声・言語・そしゃく	1.2%	8.3%	0.0%
5. 肢体不自由	39.7%	36.1%	10.7%
6. 内部 (心臓, じん臓, 肝臓, 呼吸器機能, ぼうこう・直腸, 小腸機能)	32.1%	8.3%	3.6%
7. その他〔具体的に: 〕	4.9%	19.4%	64.3%
無回答	8.2%	13.9%	14.3%



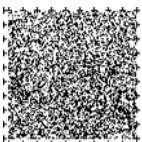
問9 以下の(1)から(8)について、あなたは現在、家族、ヘルパーなどによる支援を受けていますか。(それぞれ1つに〇)

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)		支援は必要ない	支援を受けている	支援がほしいが、受けていない	無回答
(1) 食事・着替え・入浴・排泄など 日常生活動作	身体	54.8%	22.9%	3.2%	19.1%
	知的	44.2%	34.0%	5.1%	16.7%
	精神	70.5%	10.8%	6.0%	12.7%
(2) 掃除、洗濯などの家事	身体	46.7%	28.8%	4.1%	20.4%
	知的	23.7%	55.1%	5.8%	15.4%
	精神	50.0%	28.3%	12.7%	9.0%
(3) 外出、交通機関の利用など	身体	48.0%	26.6%	4.7%	20.7%
	知的	32.7%	42.3%	7.1%	17.9%
	精神	63.9%	14.5%	7.2%	14.5%
(4) 医療機関の受診	身体	44.9%	29.7%	3.4%	22.0%
	知的	21.8%	53.8%	6.4%	17.9%
	精神	50.6%	30.7%	6.0%	12.7%
(5) コミュニケーション、人間関係の悩みなどの相談	身体	56.9%	12.0%	4.2%	26.9%
	知的	20.5%	47.4%	9.6%	22.4%
	精神	34.3%	29.5%	23.5%	12.7%
(6) 服薬の管理	身体	57.7%	16.5%	1.5%	24.3%
	知的	28.8%	47.4%	3.8%	19.9%
	精神	69.9%	12.7%	3.6%	13.9%
(7) 金銭の管理	身体	57.5%	17.0%	1.1%	24.3%
	知的	21.2%	59.0%	3.8%	16.0%
	精神	60.2%	22.9%	3.0%	13.9%
(8) 市役所、銀行などでの手続き	身体	50.2%	23.7%	2.6%	23.5%
	知的	16.7%	60.9%	6.4%	16.0%
	精神	50.0%	27.1%	9.0%	13.9%

問 9-1 問9で「支援がほしいが、受けていない」と答えた方におたずねします。支援を受けていない理由はどのようなことですか。(いくつでも〇)

身体(n=58) 知的(n=24) 精神(n=48)

	身体	知的	精神
1. 支援してくれる人が身近にいない	27.6%	37.5%	39.6%
2. 適切なサービスが見つからない	31.0%	50.0%	56.3%
3. 周囲が必要ないと考えている	10.3%	12.5%	12.5%
4. その他〔具体的に： 〕	27.6%	8.3%	31.3%
無回答	17.2%	12.5%	2.1%

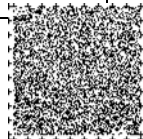


問10 あなたは、^{なや こま}悩みや^{ばあい おも}困ったことがある場合、^{そうだん}主にどなたに相談しますか。(いくつかでも○)
 身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. (同居の) ^{とうきよ} 家族・ ^{かぞく} 親族	59.5%	76.3%	47.6%
2. (別居の) ^{べつきよ} 家族・ ^{かぞく} 親族	31.0%	6.4%	28.9%
3. ^{がっこう} 学校の ^{せんせい} 先生	0.3%	2.6%	0.0%
4. ^{ゆうじん} 友人・ ^{ちじん} 知人	19.1%	9.0%	33.1%
5. ^{しょうがい} 障害のある友人・知人	5.0%	9.0%	19.9%
6. ^{そうだん} 相談支援機関（ ^{しょうふだそう} ちょうふだそう、 ^{ドルチェ} ドルチェ、 ^{きぼうがおか} 希望ヶ丘、 ^{けんこうしえん} このころの健康支援センター）の職員	2.4%	30.1%	24.1%
7. ^{しょうがいしやせつ} 障害者施設（ ^{さぎょうしょ} 作業所など）の職員、ヘルパー	2.1%	32.1%	15.7%
8. ^{かいごほけん} 介護保険のケアマネジャー	13.1%	0.6%	1.2%
9. ^{しやくしょ} 市役所の職員	6.8%	9.0%	13.3%
10. ^{ほげんしょ} 保健所の職員	0.3%	0.0%	0.0%
11. ^{みんせいいいん} 民生委員・ ^{じどういいん} 児童委員	0.5%	1.3%	0.6%
12. ^{いりょうきかん} 医療機関（ ^{いし} 医師、 ^{かんごし} 看護師、 ^{ほうもんかんご} ケースワーカー、 ^{しやくいん} 訪問看護）の職員	20.7%	16.0%	41.0%
13. その他〔 ^た 具体的に： ^{くだいてき}]	1.9%	4.5%	7.2%
14. ^{そうだん} 相談する人がいない	2.4%	1.9%	2.4%
15. ^{そうだん} 相談の必要はない	5.2%	0.0%	3.0%
無回答	4.4%	4.5%	0.6%

問11 ^{か き なか りよう}下記の中で利用しているサービスはどれですか。^{こた}すべてお答えください。
 (いくつかでも○)身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. ^{ほうもんけい} 訪問系サービス（ ^{かいご} ヘルパーによる ^{かじ} 介護、 ^{がいしゆつ} 家事、 ^{しえん} 外出などの支援） (例) ^{れい} 居宅介護、 ^{じゅうどうほりかいかい} 重度訪問介護、 ^{どうこうえんご} 同行援護、 ^{こうどうえんご} 行動援護、 ^{いどうしえん} 移動支援など	12.0%	12.8%	9.6%
2. ^{つうしょけい} 通所系サービス（ ^{さぎょうしょ} 作業所などに ^{かよ} 通い、 ^{しごと} 仕事、 ^{にっちゅうかつどう} 日中活動などを行う） (例) ^{れい} 生活介護、 ^{せいにかつかい} 自立訓練、 ^{じりつくんれん} 就労移行支援、 ^{しゅうろうけい} 就労継続支援（A型・B型）	3.7%	54.5%	28.3%
3. ^{きょじゅうけい} 居住系サービス（ ^{しせつ} 施設や ^{にゅうしょ} ケアホームなどへの入所・ ^{にゅうきよ} 入居） (例) ^{れい} 施設入所支援、 ^{しせつ} 療養介護、 ^{りょうようかいかい} 共同生活介護、 ^{きょうどうせい} 共同生活援助など	2.8%	2.6%	1.8%
4. ^{しょーとすてい} ショートステイ（ ^{たんきかん} 施設などへの短期間の入所）	4.5%	18.6%	2.4%
5. ^{ほそうぐ} 補装具（ ^{そうぐ} 装具、 ^{くるまいす} 車椅子、 ^{ほちょうき} 補聴器など）	0.0%	16.5%	1.2%
6. ^{かいごほけんせいど} 介護保険制度によるサービス	17.3%	1.9%	4.8%
7. ^{れい} 訪問介護、 ^{ほうもんかんご} 訪問看護、 ^{ふくしやうぐ} デイサービス、 ^{ほうもんかんご} 福祉用具のレンタルなど	2.3%	0.6%	4.8%
8. ^{いりょうほけん} 医療保険による訪問看護	2.3%	0.6%	4.8%
9. ^た その他民間団体、 ^た ボランティアなどのサービス [具体的に： ^{くだいてき}]	3.1%	5.1%	7.8%
10. ^{とく} 特に利用しているサービスはない	51.4%	22.4%	47.6%
11. ^わ 分からない	2.3%	5.1%	6.0%
無回答	9.7%	9.0%	2.4%



しゅうろうとう
就労等についておたずねします

問12 普段の活動についておたずねします。あなた(あて名のご本人)はどのような活動をしていますか。(いくつでも〇)身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. 会社(自営業を含む)に勤務し、仕事をしている	13.9%	24.4%	19.3%
2. 障害者施設(作業所など)に通い、仕事、日中活動をしている	2.3%	57.1%	27.1%
3. 病院などのデイケアに参加している	1.5%	2.6%	10.2%
4. 学校・大学などに通学している	0.3%	0.6%	1.2%
5. 地域の行事や自治会活動に参加している	4.1%	2.6%	3.0%
6. ボランティア活動に参加している	2.8%	1.3%	2.4%
7. 趣味、スポーツなどの活動に参加している	14.6%	10.3%	10.8%
8. オープンスペースなどに通って友人・知人と交流している	2.8%	4.5%	6.6%
9. その他〔具体的に： 〕	5.3%	5.8%	8.4%
10. 特に参加している活動はない	51.1%	10.3%	32.5%
無回答	11.8%	2.6%	0.6%

問13 あなたは、現在給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(1つに〇)
身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. 仕事をしている (障害者施設(作業所など)で工賃をもらっている人を含む)	26.3%	76.3%	45.2%
2. 仕事をしていましたが現在はしていない	41.2%	8.3%	42.2%
3. 今まで仕事をしたことがない	18.0%	12.8%	10.8%
無回答	14.6%	2.6%	1.8%

問13で「1. 仕事をしている」と答えた方におたずねします。

問 13-1 お仕事の形態は次のどれですか。(1つに〇)身体(n=162)知的(n=119)精神(n=75)

	身体	知的	精神
1. 正規社員	24.7%	13.4%	4.0%
2. 非正規社員(パート、アルバイトなど)	16.0%	19.3%	44.0%
3. 自営業(家業手伝いを含む)	16.7%	1.7%	1.3%
4. 内職	1.9%	0.0%	1.3%
5. 障害者施設(作業所など)で就労	5.6%	59.7%	45.3%
6. その他〔具体的に： 〕	3.7%	1.7%	0.0%
無回答	31.5%	4.2%	4.0%

問13-1(1)
~問13-1(3)へ

問 13-1(1) 問13-1 で「1. 正規社員」「2. 非正規社員(パート, アルバイト)」と答えた方にお聞きします。あなたは、勤務先に自分の障害、病気などについて伝えてい
 ますか。(1つに〇)

身体(n=66) 知的(n=39) 精神(n=36)

	身体	知的	精神
1. 伝えている	84.8%	94.9%	63.9%
2. 伝えていない	10.6%	5.1%	27.8%
無回答	4.5%	0.0%	8.3%

問 13-1(2) あなたは、障害者の就労を支援する「障害者就労支援センター」(ちょうふ
 だぞう, こころの健康支援センター就労支援室ライズ)を知っていますか、
 また、支援を受けていますか。(1つに〇)

身体(n=66) 知的(n=39) 精神(n=36)

	身体	知的	精神
1. 知っていて、支援を受けている	6.1%	71.8%	36.1%
2. 知っているが、支援は受けていない	39.4%	15.4%	33.3%
3. 知らない	50.0%	10.3%	27.8%
無回答	4.5%	2.6%	2.8%

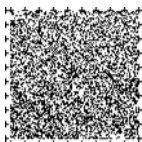
問 13-1(3) 1週間の仕事の日数、時間はどのくらいですか。(それぞれ1つに〇)

(日数) 身体(n=66) 知的(n=39) 精神(n=36)

	身体	知的	精神
1. 週 1~2日	12.1%	0.0%	8.3%
2. 週 3~4日	18.2%	20.5%	36.1%
3. 週 5日	68.2%	76.9%	55.6%
無回答	1.5%	2.6%	0.0%

(時間) 身体(n=66) 知的(n=39) 精神(n=36)

	身体	知的	精神
1. 20時間未満	18.2%	23.1%	33.3%
2. 20時間~40時間未満	36.4%	59.0%	44.4%
3. 40時間以上	42.4%	17.9%	22.2%
無回答	3.0%	0.0%	0.0%



問 13-2 仕事しごとをしている方かたにおたずねします。仕事しごとによる年間の収入ねんかん しゅうにゅう（税ぜい、社会保険料しゃかいほけんりょうなどを引ひかれる前まえの額がく）はおおむねどのくらいですか。賞与しょうよがある場合は含ばあいめてください。（1つに〇）

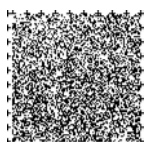
身体(n=162) 知的(n=119) 精神(n=75)

	身体	知的	精神
1. 10万円未満 <small>まんえんみまん</small>	8.0%	27.7%	33.3%
2. 10～50万円未満 <small>まんえんみまん</small>	6.2%	32.8%	13.3%
3. 50～100万円未満 <small>まんえんみまん</small>	6.2%	10.1%	10.7%
4. 100～250万円未満 <small>まんえんみまん</small>	11.1%	12.6%	21.3%
5. 250～500万円未満 <small>まんえんみまん</small>	15.4%	0.8%	2.7%
6. 500万円以上 <small>まんえんいじょう</small>	10.5%	0.0%	1.3%
7. 分からない <small>わ</small>	6.8%	3.4%	2.7%
無回答	35.8%	12.6%	14.7%

問 13-3 仕事しごとをする上で不安うえがありますか。（いくつでも〇）

身体(n=162) 知的(n=119) 精神(n=75)

	身体	知的	精神
1. 収入 <small>しゅうにゅう</small> が少ない <small>すく</small>	20.4%	33.6%	57.3%
2. 仕事 <small>しごと</small> があわない	3.1%	2.5%	12.0%
3. 仕事 <small>しごと</small> がきつい	4.9%	4.2%	14.7%
4. 人間関係 <small>にんげんかんけい</small> がうまくいかない	2.5%	13.4%	18.7%
5. トイレなどの設備 <small>せつび</small> が十分 <small>じゅうぶん</small> でない	2.5%	0.8%	2.7%
6. 通勤 <small>つうきん</small> がたいへん	8.0%	5.0%	13.3%
7. 雇用 <small>こよう</small> が不安定 <small>ふあんてい</small>	2.5%	4.2%	22.7%
8. 相談 <small>そうだん</small> できる人がいない <small>ひと</small>	1.9%	6.7%	8.0%
9. その他 <small>た</small> 〔具体的に： <small>ぐたいてき</small> 〕	4.9%	3.4%	1.3%
10. 特 <small>とく</small> にない	29.6%	37.8%	20.0%
無回答	37.7%	10.1%	6.7%



問13 で 2, 3 と答えた方におたずねします。

問 13-4 仕事をしていない理由は次のどれですか。(いくつでも○)

身体(n=365) 知的(n=33) 精神(n=88)

	身体	知的	精神
1. 就学 中 のため	0.8%	6.1%	0.0%
2. 高 齢 のため	51.2%	9.1%	12.5%
3. 重 い 障 害 のため	23.3%	30.3%	20.5%
4. 病 気 のため (入 院 を含 む)	17.8%	3.0%	50.0%
5. 希 望 す る 職 種 が 得 ら れ な い た め	3.3%	9.1%	13.6%
6. 通 勤 が 難 し い た め	4.9%	12.1%	13.6%
7. 就 労 に 向 け て 準 備 中 (訓 練 中) の た め	0.8%	9.1%	11.4%
8. 働 く 必 要 が な い た め	14.5%	3.0%	12.5%
9. 現 在 仕 事 を 探 し て い る た め	2.5%	9.1%	10.2%
10. そ の 他 [具 体 的 に :]	4.7%	6.1%	8.0%
無 回 答	20.0%	24.2%	11.4%

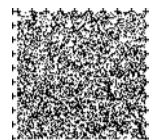
すべての方におたずねします。

問14 あなたは、今後どのような仕事がしたいですか。現在働いている場合は、これからも同じ仕事を続けたい場合も含まれます。(1つに○)

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

問14-1へ

	身体	知的	精神
1. 正 規 職 員	9.6%	16.7%	28.3%
2. 非 正 規 社 員 (パ ー ト, ア ル バ イ ト な ど)	7.8%	16.7%	19.9%
3. 自 営 業	6.6%	1.9%	5.4%
4. 内 職	4.9%	0.0%	3.6%
5. 障 害 者 施 設 (作 業 所 な ど) で 就 労	2.1%	44.2%	20.5%
6. そ の 他 [具 体 的 に :]	16.2%	7.1%	15.7%
無 回 答	52.8%	13.5%	6.6%



問 14-1 仕事をするために、あなたが必要と思うことは何ですか。(いくつでも○)

身体(n=107) 知的(n=52) 精神(n=80)

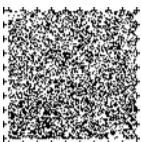
	身体	知的	精神
1. 就労に結びつく技術や知識の習得	33.6%	50.0%	55.0%
2. 就職活動に必要な情報の提供	21.5%	21.2%	45.0%
3. 障害特性にあった多様な仕事、就労形態の整備	28.0%	38.5%	46.3%
4. 障害者雇用の定員の拡大	21.5%	36.5%	41.3%
5. 受け入れ先の施設面での整備	15.0%	5.8%	18.8%
6. 通勤手段の確保	18.7%	11.5%	15.0%
7. ジョブコーチ(職場適応援助者)※1など就労支援する援助者の配置	7.5%	36.5%	32.5%
8. トライアル雇用(試行雇用)※2の実施	9.3%	21.2%	26.3%
9. 上司や同僚の理解と協力	29.0%	42.3%	58.8%
10. 就労(継続)のためのカウンセリングや相談	14.0%	34.6%	42.5%
11. 心身の健康状態の維持・向上	43.9%	40.4%	72.5%
12. 自分自身の意欲	45.8%	40.4%	60.0%
13. その他〔具体的に： 〕	1.9%	3.8%	3.8%
14. 特にない	12.1%	7.7%	2.5%
無回答	3.7%	1.9%	0.0%

※1「ジョブコーチ(職場適応援助者)」

障害のある方が職場に早く慣れて定着できるように、一定期間会社に出向くなどして、障害のある方、会社のどちらにも助言・指導を行う専門の支援者。

※2「トライアル雇用(試行雇用)」

会社が障害のある方を短期間(3か月)試しに雇用した場合、会社に対し奨励金が支給される。試行期間中に会社と障害のある方がお互いに適性を判断し、合意すれば常用雇用(社員)に移行する。



ちいき
地域のつながりについておたずねします

問15 あなた(あて名のご本人)は、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。
(1つに○)

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. 家(いえ)を行き来(いき)するなど、親(した)しく近所(きんじよ)づきあい(あ)をしている	13.1%	4.5%	3.0%
2. 立ち話(たばなし)をする程度(ていど)のつきあい(あ)をしている	28.8%	7.7%	8.4%
3. あいさつ(あ)をする程度(ていど)のつきあい(あ)をしている	40.4%	46.8%	55.4%
4. 近所(きんじよ)づきあい(あ)をしていない	12.5%	35.3%	32.5%
無回答	5.2%	5.8%	0.6%

問16 あなたは、暮らし(く)の中で、地域(なか)のつながり(ちいき) (住民(じゅうみん)同士(どうし)の助け(たす)合い(あ)・支え(ささ)合い(あ)など)は必要(ひつよう)だと思(おも)いますか。(1つに○)

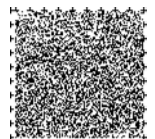
身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. とても必要(ひつよう)だと思(おも)う	35.2%	34.0%	28.3%
2. どちらか(ひつよう)といえ(おも)ば、必要(ひつよう)だと思(おも)う	50.2%	48.1%	48.2%
3. どちらか(ひつよう)といえ(おも)ば、必要(ひつよう)ないと思(おも)う	5.7%	5.8%	15.7%
4. 必要(ひつよう)ないと思(おも)う	3.2%	6.4%	7.8%
無回答	5.7%	5.8%	0.0%

問17 あなたがお住(す)まいの地域(ちいき)には、地域(ちいき)のつながり(じゅうみん) (住民(じゅうみん)同士(どうし)の助け(たす)合い(あ)・支え(ささ)合い(あ)など)はあ(かん)ると感(かん)じますか。(1つに○)

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. とても感(かん)じる	15.9%	12.8%	7.8%
2. 少し(すこ)感(かん)じる	37.8%	39.7%	31.3%
3. あまり感(かん)じない	28.2%	26.3%	41.0%
4. 感(かん)じない	12.3%	16.0%	19.9%
無回答	5.8%	5.1%	0.0%



ちいきふくしかつどうとう とりくみ
地域福祉活動等の取組についておたずねします

問18 次のような地域活動・ボランティア活動などについて、あなた(あて名のご本人)がやっている、今後やりたい、またはあなた自身がしてもらいたい活動はありますか。特に該当するものがない場合は「4 該当なし」に○をつけてください。

(1)~(13)それぞれ1つに○

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)		や っ て い る	や り た い	し て ほ し い	該 当 な し	無 回 答
(1) 子どもを育てている親を支援する活動	身体	1.0%	2.9%	9.4%	53.6%	33.1%
	知的	0.0%	1.3%	16.7%	55.1%	26.9%
	精神	0.0%	5.4%	13.3%	68.7%	12.7%
(2) 青少年の健やかな成長・非行防止のための活動	身体	1.0%	3.1%	12.6%	49.3%	34.0%
	知的	0.0%	1.3%	13.5%	56.4%	28.8%
	精神	0.6%	6.0%	17.5%	63.9%	12.0%
(3) ひとり暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	身体	1.5%	4.1%	22.5%	41.0%	31.0%
	知的	0.0%	1.9%	24.4%	48.7%	25.0%
	精神	1.2%	7.8%	27.1%	53.0%	10.8%
(4) 介護が必要な高齢者を支援する活動	身体	0.8%	2.6%	24.5%	41.3%	30.8%
	知的	1.3%	2.6%	22.4%	50.0%	23.7%
	精神	1.8%	7.8%	24.1%	54.2%	12.0%
(5) 障害のある人(子ども)を支援する活動	身体	1.5%	3.4%	21.4%	42.3%	31.4%
	知的	0.6%	3.2%	41.0%	35.3%	19.9%
	精神	2.4%	10.8%	33.7%	44.6%	8.4%
(6) 難病や病気の人を支援する活動	身体	0.6%	2.3%	22.4%	42.6%	32.1%
	知的	0.0%	0.6%	27.6%	47.4%	24.4%
	精神	1.8%	10.8%	31.9%	44.0%	11.4%
(7) 地域の伝統や文化を伝える活動	身体	0.6%	5.0%	13.5%	46.4%	34.5%
	知的	0.0%	4.5%	15.4%	50.0%	30.1%
	精神	0.6%	8.4%	20.5%	57.2%	13.3%
(8) 交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動	身体	1.1%	2.4%	24.3%	39.2%	32.9%
	知的	0.0%	3.2%	35.3%	38.5%	23.1%
	精神	0.0%	5.4%	38.6%	45.2%	10.8%
(9) 災害時に救済・支援する活動	身体	1.5%	2.8%	33.4%	30.8%	31.6%
	知的	1.3%	3.8%	45.5%	29.5%	19.9%
	精神	0.0%	9.6%	45.8%	33.1%	11.4%
(10) 地域の環境美化を行う活動	身体	1.0%	4.5%	23.5%	37.6%	33.4%
	知的	3.2%	6.4%	23.1%	41.7%	25.6%
	精神	0.6%	8.4%	38.0%	41.6%	11.4%
(11) 自治会・町内会・老人クラブ	身体	5.3%	3.9%	13.6%	43.8%	33.4%
	知的	0.6%	0.6%	16.7%	56.4%	25.6%
	精神	1.2%	4.2%	18.1%	63.9%	12.7%
(12) 環境保全・自然保護などの活動	身体	0.8%	5.8%	20.9%	39.4%	33.1%
	知的	0.6%	5.1%	24.4%	44.2%	25.6%
	精神	1.2%	13.9%	30.1%	44.0%	10.8%
(13) その他 〔具体的に： 〕	身体	0.6%	1.0%	1.3%	35.5%	61.6%
	知的	0.6%	0.6%	1.3%	41.0%	56.4%
	精神	1.2%	1.2%	3.6%	42.8%	51.2%

さいがいじ たいおう
災害時の対応についておたずねします

問19 あなた(あて名のご本人)は、災害や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか。(もっとも近いと思うもの1つに○)

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. 一人で判断し、避難できる	50.2%	25.6%	66.9%
2. 一人で判断できるが、避難はできない	27.7%	19.2%	15.1%
3. 一人では判断できないし、避難もできない	13.6%	50.0%	14.5%
無回答	8.4%	5.1%	3.6%

問19-1へ

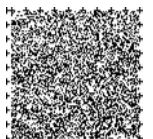
問 19-1 問19 で一人で避難できない方(2または3に○)におたずねします。災害や火災など緊急時に避難する際に、手助けを頼める人はいますか。(1つに○)
 また、「1. いる」の場合は手助けを頼める人にあてはまるものに○をつけてください。(いくつでも○)

身体(n=255) 知的(n=108) 精神(n=49)

	身体	知的	精神
1. いる	83.5%	88.9%	61.2%
2. いない	10.6%	4.6%	26.5%
3. 分からない	3.9%	4.6%	10.2%
無回答	2.0%	1.9%	2.0%

身体(n=213) 知的(n=96) 精神(n=30)

	身体	知的	精神
1. 同居の家族	69.5%	90.6%	66.7%
2. 別居の家族	22.1%	6.3%	20.0%
3. 近所の人	13.1%	10.4%	6.7%
4. その他〔具体的に：	11.3%	8.3%	13.3%
無回答	3.8%	4.2%	0.0%



問20 あなたは、災害時に避難を助けたり、避難状況を確認するために、自治会、地区協議会※1、防災市民組織※2へ、住所・氏名・連絡先などの情報を事前に知らせておくことについて、どう思いますか。(1つに○)

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. 住所・氏名・連絡先のほか、障害や病気の 内容を知らせてもいい	47.3%	44.9%	33.1%
2. 住所・氏名・連絡先ならば、知らせてもいい	27.7%	29.5%	35.5%
3. 知らせたくない	4.9%	7.7%	13.9%
4. 分からない	11.0%	12.8%	14.5%
無回答	9.1%	5.1%	3.0%

※1「地区協議会」

おおむね小学校区をひとつのコミュニティエリアとして、自治会・子ども会・民生委員・PTA・健全育成・学校開放・消防団・商店会・ボランティアサークルなどの地域の活動団体や個人を横系で結んだネットワーク組織です。

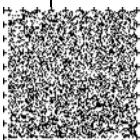
※2「防災市民組織」

発災直後の人命救助や初期消火のため、「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯感に基づき、地域で自主的に結成された組織です。

問21 あなたは、災害時の避難所でどのようなことに配慮してほしいと思いますか。(1つに○)

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. 段差がない、使いやすいトイレなどの施設のバリアフリー	43.4%	17.9%	15.7%
2. 情報が文字や音声など複数の方法で伝えられること	15.4%	12.8%	13.3%
3. 個室、間仕切り（パーティション）などでの対応が可能であること	21.6%	37.2%	39.8%
4. 相談窓口の設置や、介助を担当するスタッフがいること	16.0%	27.6%	30.1%
5. アレルギーや介護食、離乳食など食事への配慮がされ			
ていること	2.3%	1.9%	4.2%
6. その他〔具体的に：]	5.3%	3.2%	7.8%
7. 分からない	7.3%	12.2%	13.9%
無回答	9.9%	7.1%	5.4%



ちょうふし しょうがいしゃふくししさく
調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問22 あなた(あて名のご本人)は、調布市の障害者福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. 市役所の窓口	31.1%	31.4%	34.3%
2. 病院の職員・掲示板	8.4%	1.9%	21.7%
3. 作業所、施設等の職員・掲示板	1.6%	31.4%	20.5%
4. 相談機関(ちょうふだそう, ドルチェ, 希望ヶ丘, 健康支援センター)の窓口	4.1%	32.7%	24.1%
5. 社会福祉協議会の窓口	4.9%	7.1%	4.2%
6. 学校	0.0%	1.9%	0.0%
7. 友人から聞く	5.3%	13.5%	7.8%
8. 市報ちょうふ	49.6%	44.2%	31.3%
9. 市のホームページ	9.9%	8.3%	6.6%
10. 市の刊行物(暮らしの便利帳, 障害者のしおり, など)	21.6%	19.9%	12.0%
11. 障害当事者団体の会合・会報など	4.4%	15.4%	4.8%
12. その他〔具体的に:]	4.2%	4.5%	5.4%
13. 特にない・情報は入手していない	15.9%	7.7%	16.9%
無回答	7.0%	2.6%	3.0%

問23 あなたは、調布市が平成25年8月より配布しているヘルプカード※を持っていますか。
(1つに〇)

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. 持っていて、いつも持ち歩いている	14.7%	21.8%	4.2%
2. 持っているが、持ち歩いていない	38.9%	53.2%	4.8%
3. 持っていないが、ほしいと思う	22.5%	11.5%	44.6%
4. 持っていないし、必要ない	16.2%	10.9%	42.6%
無回答	7.6%	2.6%	4.2%

※「ヘルプカード」

ヘルプカードは、障害のある方が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載し、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものです。
障害福祉課の窓口で配布しています。



問24 あなたは、平成24年10月から「障害者虐待防止法」が施行されたことを、知っていましたか。(1つに〇)

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

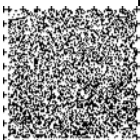
	身体	知的	精神
1. 知っていた	19.6%	26.3%	12.0%
2. 知らなかった	70.2%	66.7%	84.9%
無回答	10.2%	7.1%	3.0%

問 24-1 「1. 知っていた」と答えた方にお聞きします。調布市では障害福祉課が「障害者虐待防止センター」※として、障害者虐待の通報窓口となっていることを知っていましたか。(1つに〇) 身体(n=121) 知的(n=41) 精神(n=20)

	身体	知的	精神
1. 知っていた	34.7%	43.9%	35.0%
2. 知らなかった	63.6%	56.1%	65.0%
無回答	1.7%	0.0%	0.0%

※「障害者虐待防止センター」

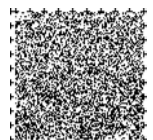
障害者の虐待に関する通報を受けるための窓口として、各市町村が設置しています。センターで通報を受けた場合は、立ち入り調査等による事実確認や、一時保護などの措置を行います。



問25 あなたは、次の調布市の相談窓口などを知っていますか。

((1)~(5)それぞれ1つに○)

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)		知っている	知らない	無回答
<p>(1) 障害者地域自立支援協議会 様々な障害者団体、障害者支援に関わる機関、 専門家などが集まり、障害のある方の地域生活 を支えるしくみを話しあう協議会です。</p>	身体	17.0%	65.2%	17.8%
	知的	17.3%	65.4%	17.3%
	精神	12.7%	79.5%	7.8%
<p>(2) ドルチェ 主に身体障害、高次脳機能障害のある方の相談 窓口です。調布市総合福祉センター内に設置され ています。</p>	身体	13.3%	64.3%	22.4%
	知的	19.9%	61.5%	18.6%
	精神	15.1%	77.1%	7.8%
<p>(3) ちょうふだそう 主に知的障害のある方の相談窓口です。移動 支援事業や就労支援も行っています。</p>	身体	17.7%	59.6%	22.7%
	知的	75.0%	17.9%	7.1%
	精神	34.3%	59.0%	6.6%
<p>(4) 希望ヶ丘 主に精神障害のある方の相談窓口です。夕食会 やオープンスペースの提供なども行っていま す。</p>	身体	7.9%	69.2%	22.9%
	知的	10.9%	70.5%	18.6%
	精神	28.9%	62.7%	8.4%
<p>(5) こころの健康支援センター 主に精神障害、発達障害のある方の相談窓口で す。デイ事業や就労支援も行っています。</p>	身体	9.9%	66.8%	23.3%
	知的	25.6%	55.8%	18.6%
	精神	46.4%	47.6%	6.0%



問26 次^{つぎ}にあげる障害者福祉^{しょうがいしゃふくし}に関する取組^{とりぐみ}のうち、あなたが今後^{こんご}調布市^{ちょうふし}で特に充実^{とく}させてほしいものはどれですか。(いくつでも○)

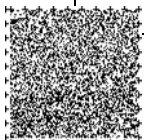
身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. ホームヘルプなど在宅生活 ^{ざいたくせいかつ しえん} を支援するサービス	29.0%	23.1%	27.7%
2. 作業所 ^{さぎょうしょ} など日中の活動場所 ^{にっちゆう かつどうばしょ} の整備 ^{せいび}	6.0%	28.2%	28.9%
3. グループホーム、ケアホームなど地域 ^{ちいき} における住まい ^す の場の整備 ^{せいび}	13.3%	39.7%	16.9%
4. 介護者 ^{かいごしゃ} の病気 ^{びょうき} など、緊急時 ^{きんきゅうじ} における一時預かり ^{いちじあす} 、ショートステイ	26.1%	37.2%	18.7%
5. 福祉サービス ^{ふくし} の利用 ^{りよう} や手続き ^{てつづ} を支援するサービス ^{しえん}	24.5%	30.1%	34.9%
6. 企業 ^{きぎょう} などで働くための支援 ^{はたら しえん} （就労支援 ^{しゅうろうしえん} ）	9.2%	24.4%	39.8%
7. ガイドヘルパー、コミュニケーション支援 ^{しえん} など社会参加 ^{しゃかいさんか} の支援 ^{しえん}	4.7%	16.7%	18.7%
8. 困ったこと ^{こま} を気軽に相談 ^{きがる そうだん} できる窓口 ^{まどぐち}	34.5%	35.3%	56.0%
9. 訪問診療 ^{ほうもんしんりょう} 、訪問看護 ^{ほうもんかんご} などの地域 ^{ちいき} での医療サービス ^{いりょう}	23.0%	10.3%	19.3%
10. 手当 ^{てあて} や医療費 ^{いりょうひ} の助成 ^{じょせい} などの経済的 ^{けいざいてき} な支援 ^{しえん}	31.4%	23.1%	40.4%
11. ボランティア活動 ^{かつどう} などの地域活動 ^{ちいきかつどう} の促進 ^{そくしん}	7.0%	7.1%	13.9%
12. 公共施設 ^{こうきょうしせつ} や道路 ^{どうろ} 、交通機関 ^{こうつうきかん} などのバリアフリー	28.0%	17.3%	12.0%
13. 障害 ^{しょうがい} に応じた多様な情報提供 ^{おう たよう じょうほうていきょう} の充実 ^{じゅうじつ}	22.7%	31.4%	45.8%
14. 障害理解 ^{しょうがいりかい} の促進 ^{そくしん} や差別 ^{さべつ} の解消 ^{かいしょう}	10.9%	28.2%	40.4%
15. 障害 ^{しょうがい} のある当事者 ^{とうじしゃ} 、家族同土 ^{かそくどうし} の情報交換 ^{じょうほうこうかん} 、交流 ^{こうりゅう} の機会 ^{きかい}	8.3%	19.2%	21.7%
16. 福祉サービス ^{ふくし} に関わる専門的 ^{かか} な人材 ^{せんもんてき} の育成 ^{じんざい}	17.8%	27.6%	31.9%
17. その他〔具体的に： ^{た ぐたいてき} 〕	3.1%	3.8%	7.2%
無回答	19.8%	9.0%	7.8%

問27 調布市^{ちょうふし}の障害者福祉施策^{しょうがいしゃふくししさく}(サービス)全般^{ぜんぱん}について、あなたはどのように感じますか。(1つに○)

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. とても充実 ^{じゅうじつ} している	6.5%	7.1%	8.4%
2. 充実 ^{じゅうじつ} している	50.1%	56.4%	50.0%
3. あまり充実 ^{じゅうじつ} していない	17.7%	18.6%	22.9%
4. 充実 ^{じゅうじつ} していない	2.9%	5.1%	8.4%
無回答	22.9%	12.8%	10.2%

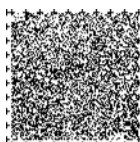


問28 調布市では、人々が障害者や高齢者への理解を深め、市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう地域社会の実現を目指しています。このような「市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう」という考え方について、あなたの周囲の人は理解していると思いますか。(1つに○)

身体(N=617) 知的(N=156) 精神(N=166)

	身体	知的	精神
1. 理解している	11.2%	10.9%	13.9%
2. どちらかといえば、理解している	37.6%	32.1%	31.3%
3. どちらかといえば、理解していない	15.6%	19.9%	18.7%
4. 理解していない	5.3%	7.1%	11.4%
5. 分からない	21.1%	23.7%	20.5%
無回答	9.2%	6.4%	4.2%

問29 障害のある人がいきいきとした生活を送ることができる地域社会を実現していくための取組などについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。



きょうりよく
 ——ご協力ありがとうございました——

ちょうふし みんふくし ちょうさ
調布市民福祉ニーズ調査
しょうがい かた ちいきせいかつ かん ちょうさ
障害のある方の地域生活に関する調査
ちょうさ ねが
調査についてのお願い

しみん みな ひ じせいはってん りかい きょうりょく あつ
市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお
れいもう
礼申しあげます。

このたび調布市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、今後の障害者福祉
しきくとう かた けんとう さい しりょう しょうがい かた ちいきせいかつ かん
施策等のあり方を検討する際の資料とするため、「障害のある方の地域生活に関する
ちょうさ じっし ちょうさ へいせい ねん がつ にちげんざい ちょうふし
調査」を実施することとなりました。この調査は、平成25年10月1日現在、調布市に
す しんたいしょうがいしゃてちょう あい てちょう せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう も
お住まいの身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの18歳
みまん かた ことし がつ にちいこう さい かた ぶん なか にん
未満の方（今年の4月1日以降に18歳になった方も含みます）の中から、150人を
むさくい えら ないよう ちょうさ もく てきがい しょう
無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

かいとう ないよう とうけいてき しょうり ちょうさもくてきがい しょう
ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することは
いそが まこと きょうしゅく ぞん ちょうさ しゅし りかい
ありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、
きょうりょく ねが もう
ご協力をお願い申しあげます。

へいせい ねん がつ ちょうふしちょう なが とも よし き
平成25年10月 調布市長 長 友 貴 樹

りめん きにゅう ねが よ きにゅう ねが
裏面の「記入についてのお願い」をよくお読みのうえ、ご記入をお願いします。

ちょうさひょう へんしんようふうとう じゅうしょ しめい きにゅう ひつよう
調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

きにゅう お ちょうさひょう どうふう へんしんようふうとう きって ふうよう い
ご記入が終わりでしたら、調査票を同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

がつ にち もく
11月7日(木)までに郵便ポストに投函してください。

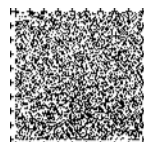
ちょうさ しつもん
調査についてご質問などがありましたら、

かき と あ
下記までお問い合わせください。

といあわ さき
問合せ先

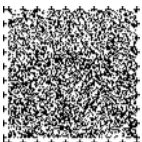
ちょうふし ふくしけんこうぶ しょうがいふくしか
調布市 福祉健康部 障害福祉課

でんわ
電話：042-481-7094



記入についてのお願い

1. 問1～問8は封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。 調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。なお、ご本人が回答困難な場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。
2. 問9～問27は保護者などあて名ご本人を主にサポートしている方がご記入をお願いします。
3. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
4. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
の場合は回答内容等を記入してください。
5. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
6. 「その他」に○印をつけられた方は、[]内に具体的な答えを記入してください。



あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします

※ここでいう「あなた」とは調査票をお送りしている方のことです。

※ご本人が回答困難な場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名のご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。

※平成25年10月1日現在の状況をもとに回答してください。

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。(1つに〇)

(N=91)

1. 本人 9.9% 2. 家族 90.1% 3. その他 0.0% 無回答 0.0%

問2 あなた(あて名のご本人)の性別をお答えください。(1つに〇)

また、平成25年10月1日現在の年齢をご記入ください。

(N=91)

1. 男性 71.4% 2. 女性 28.6% 満(11.2)歳 ※数字を記入
無回答 0.0%

問3 現在、あなた(あて名のご本人)が一緒に暮らしているご家族は、あなたからみて、どなたですか。(いくつでも〇)

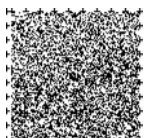
(N=91)

1. 親 96.7%
2. 兄弟姉妹 69.2%
3. 祖父母 12.1%
4. その他 [具体的に:] 2.2%
無回答 1.1%

問 3-1 現在一緒に暮らしているご家族はあなたを含めて何人ですか。数字をご記入ください。

(N=91)

(4.0) 人 ※数字を記入



問 3-2 あなた(あて名のご本人)の主に介護や支援、養育をしている方はどなたですか。
あて名のご本人からみた続柄で回答してください(1つに○)。また、○をつけて
た方の性別にも○をつけて、年齢をご記入ください。

(N=91)

1. 親	98.9%
	((n=90) 男性 20.0%・女性77.8%) (平均 44.8歳)
2. 兄弟姉妹	0.0%
	((n=0) 男性 00.0%・女性00.0%) (平均 - 歳)
3. 祖父母	0.0%
	((n=0) 男性 00.0%・女性00.0%) (平均 - 歳)
4. その他の親族	0.0%
	((n=0) 男性 00.0%・女性00.0%) (平均 - 歳)
5. その他	1.1%
	((n=1) 男性100.0%・女性00.0%) (平均 11.0歳)
無回答	0.0%

問4 現在、あなたがお住まいの地域はどこですか。
記入例を参考に【町名】、【丁目】をご記入ください。

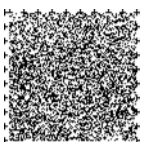
(N=91)

第1地域	0.0%	第3地域	8.8%	第5地域	3.3%	第7地域	17.6%	第9地域	7.7%
第2地域	5.5%	第4地域	6.6%	第6地域	23.1%	第8地域	8.8%	第10地域	17.6%
								無回答	1.1%

問5 あなたのお住まいは、次のどれですか。(1つに○)

(N=91)

1. 持ち家の一戸建て	39.6%
2. 持ち家の集合住宅 (マンション・アパートなど)	26.4%
3. 賃貸の一戸建て	1.1%
4. 賃貸の集合住宅 (マンション・アパートなど)	20.9%
5. 公営住宅 (市営・都営住宅など)	4.4%
6. 社宅・公務員住宅など	4.4%
7. その他〔具体的に：	〕 0.0%
無回答	3.3%



障害の状況や日常生活についておたずねします

問6 あなた(あて名のご本人)がお持ちの手帳または受けている診断名について、あてはまるものすべてに○をしてください。また、手帳の等級と診断名をご記入ください。

(N=91)

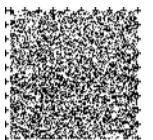
てちょう しゅべつ 手帳の種別	てちょう とうきゅう 手帳の等級
1. 身体障害者手帳を持っている	18.7% (平均2.8)級
2. 愛の手帳を持っている	86.8% (平均3.4)度
3. 精神障害者保健福祉手帳を持っている	1.1% (平均3.0)級
4. 発達障害の診断を受けている(診断名:)	23.1%
5. 高次脳機能障害の診断を受けている	0.0%
6. 難病の診断を受けている(診断名:)	0.0%
無回答	1.1%

問6-1 問6で「1. 身体障害者手帳を持っている」と答えた方におたずねします。障害の部位はどれですか。(いくつでも○)

また、○をしたもののうち、主な障害を1つだけ選び◎をしてください。

(n=17)

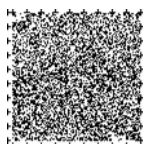
	(障害の部位) (主な障害)	
1. 視覚	11.8%	11.8%
2. 聴覚	11.8%	11.8%
3. 平衡機能	0.0%	0.0%
4. 音声・言語・そしゃく	0.0%	0.0%
5. 肢体不自由	52.9%	41.2%
6. 内部(心臓, じん臓, 肝臓, 呼吸器機能, ぼうこう・直腸, 小腸機能)	17.6%	17.6%
7. その他〔具体的に:]	17.6%	11.8%
無回答	0.0%	5.9%



問7 ^{かき} ^{りよう} 下記の中で利用しているサービスはどれですか。すべてお答えください。
(いくつでも○)

(N=91)

1. ^{ほうもんけい} 訪問系サービス (ヘルパーによる ^{かいご} 介護, ^{かじ} 家事, ^{がいしゅつ} 外出などの ^{しえん} 支援)	13.2%
(例) ^{れい} 居宅介護, ^{じゅうたかかいご} 重度訪問介護, ^{どうこうえんご} 同行援護, ^{こうどうえんご} 行動援護, ^{いどうしえん} 移動支援など	
2. ^{つうしょけい} 通所系サービス (通園による ^{りょういく} 療育や, ^{しせつ} 施設での ^{ほうかごかつどう} 放課後活動など)	52.7%
(例) ^{れい} 児童発達支援, ^{じどうはつたつしえん} 放課後等 ^{ほうかごどう} デイサービスなど	
3. ^{ほそうぐ} 補装具 (装具, ^{くるまいす} 車椅子, ^{ほちょうき} 補聴器など)	11.0%
4. ^{いりょうほけん} 医療保険による ^{ほうもんかんご} 訪問看護	1.1%
5. ^こ 子どもショートステイ・ ^{いちじあす} 一時預かり	6.6%
6. ^{しょうがいじたいしょう} 障害児対象の ^{いちじあす} ショートステイ・一時預かり	7.7%
7. ^{ファミリー・サポート・センター}	6.6%
8. ^た その他 ^{みんかんだんたい} 民間団体, ^{ボランティア} ボランティアなどのサービス	3.3%
(^{くたいてき} 具体的に :)
9. ^{とく} 特に ^{りよう} 利用しているサービスはない	31.9%
10. ^わ 分からない	2.2%
無回答	1.1%



問8 あなた(あて名ご本人)は、日中どのように過ごしていますか。
しょうがっこうしゅうがくまえ こ とい しょうがっこうしゅうがくい こう こ とい とい
 小学校就学前のお子さまは問8-1, 小学校就学以降のお子さまは問8-2, 問8-3に
こた
 答えください。

しょうがっこうしゅうがくまえ こ き
 小学校就学前のお子さまにお聞きます。

問 8-1 あなたは、日中主にどこかに通園・通所していますか。(いくつでも○)
 (n=7)

1. 保育園・保育所	57.1%
2. 幼稚園	0.0%
3. 子ども発達センター	100.0%
4. 児童発達支援事業所(医療型を含む。子ども発達センターを除く)	0.0%
5. その他〔具体的に： た ぐたいてき	〕 0.0%
6. どこにも通園・通所していない	0.0%
無回答	0.0%

しょうがっこうしゅうがくい こう こ き
 小学校就学以降のお子さまにお聞きます。

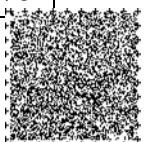
問 8-2 あなたが現在通学している学校・学級は次のうちどれですか。(1つに○)
 (n=79)

1. 普通学級のみ(小・中学校)	5.1%
2. 普通学級と通級学級(小・中学校)	5.1%
3. 特別支援学級(小・中学校)	44.3%
4. 特別支援学校	31.6%
5. 高等学校・高等専門学校	6.3%
6. どこにも通学していない	0.0%
無回答	7.6%

問 8-3 あなたは現在、学校以外の時間でどのようなサービス、施設等を利用して過ごしていますか。(いくつでも○)

(n=79)

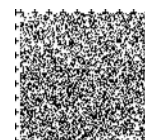
1. 学童保育	7.6%
2. 放課後等デイサービス事業所	44.3%
3. 児童館	1.3%
4. CAPS(青少年ステーション)	3.8%
5. 民間の相談機関・施設(カウンセリング、フリースペースなど)	10.1%
6. その他〔具体的に： た ぐたいてき	〕 8.9%
7. 特に何も利用していない	31.6%
無回答	6.3%



問11 あなた(あて名ご本人を主にサポートしている方)は、悩みや困ったことがある場合、主にどなたに相談しますか。(いくつでも○)

(N=91)

1. (同居の) 家族・親族	74.7%
2. (別居の) 家族・親族	38.5%
3. 保育園・幼稚園の先生	4.4%
4. 学校の先生	64.8%
5. 友人・知人	35.2%
6. 障害児をもつ親である友人・知人	65.9%
7. 相談支援機関(ちょうふだそう, ドルチェ, 希望ヶ丘, こころの健康支援センター)の職員	2.2%
8. 子ども発達センター	15.4%
9. 子ども家庭支援センターすこやか	1.1%
10. 教育相談所	11.0%
11. 障害児施設(放課後等デイサービスなど)の職員, ヘルパー	16.5%
12. 市役所の職員	8.8%
13. 保健所の職員	0.0%
14. 民生・児童委員	0.0%
15. 医療機関(医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護)の職員	41.8%
16. その他〔具体的に： 〕	6.6%
17. 相談する人がいない	1.1%
18. 相談の必要はない 無回答	0.0%



地域のつながりについておたずねします

問12 あなた(あて名ご本人を主にサポートしている方)は、日ごろどのような近所づきあいをしていますか。(1つに○)

(N=91)

1. 家を行き来するなど、親しく近所づきあいをしている	11.0%
2. 立ち話をする程度のつきあいをしている	34.1%
3. あいさつをする程度のつきあいをしている	50.5%
4. 近所づきあいをしていない	4.4%
無回答	0.0%

問13 あなた(あて名ご本人を主にサポートしている方)は、暮らしの中で、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)は必要だと思いますか。(1つに○)

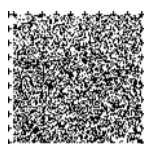
(N=91)

1. とても必要だと思う	46.2%
2. どちらかといえば、必要だと思う	49.5%
3. どちらかといえば、必要ないと思う	4.4%
4. 必要ないと思う	0.0%
無回答	0.0%

問14 あなた(あて名ご本人を主にサポートしている方)がお住まいの地域には、地域のつながり(住民同士の助け合い・支え合いなど)はあると感じますか。(1つに○)

(N=91)

1. とても感じる	11.0%
2. 少し感じる	36.3%
3. あまり感じない	41.8%
4. 感じない	11.0%
無回答	0.0%



地域福祉活動等の取組についておたずねします

問15 次のような地域活動・ボランティア活動などについて、あなた(あて名ご本人を主にサポートしている方)が活動したい、またはあなた自身がしてもらいたい活動はありますか。特に該当するものがない場合は「4 該当なし」に○をつけてください。

(1)~(13)それぞれ1つに○)

(N=91)	やっている	やりたい	してほしい	該当なし	無回答
(1) 子どもを育てている親を支援する活動	4.4%	12.1%	54.9%	26.4%	2.2%
(2) 青少年の健やかな成長・非行防止のための活動	1.1%	6.6%	56.0%	36.3%	0.0%
(3) ひとり暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	1.1%	12.1%	45.1%	39.6%	2.2%
(4) 介護が必要な高齢者を支援する活動	0.0%	6.6%	49.5%	41.8%	2.2%
(5) 障害のある人(子ども)を支援する活動	6.6%	12.1%	72.5%	6.6%	2.2%
(6) 難病や病気の人を支援する活動	1.1%	8.8%	51.6%	35.2%	3.3%
(7) 地域の伝統や文化を伝える活動	0.0%	5.5%	38.5%	51.6%	4.4%
(8) 交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動	2.2%	4.4%	68.1%	23.1%	2.2%
(9) 災害時に救援・支援する活動	1.1%	11.0%	75.8%	9.9%	2.2%
(10) 地域の環境美化を行う活動	2.2%	16.5%	41.8%	37.4%	2.2%
(11) 自治会・町内会・老人クラブなどの活動	11.0%	4.4%	25.3%	56.0%	3.3%
(12) 環境保全・自然保護などの活動	0.0%	11.0%	49.5%	37.4%	2.2%
(13) その他 〔具体的に: 〕	0.0%	2.2%	5.5%	31.9%	60.4%

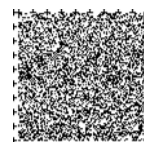
災害時の対応についておたずねします

問16 あて名のご本人は、災害や火災などの緊急時に、避難することができますか。(もっとも近いと思うもの1つに○)

(N=91)

1. 家族が一人いれば、避難できる	75.8%
2. 家族が揃っていれば、避難できる	18.7%
3. 家族が揃っていても、避難できない	2.2%
理由:	
無回答	3.3%

10ページ
問16-1へ



問 16-1 避難できない方(2または3に○)におたずねします。災害や火災など緊急時に避難する際に、手助けを頼める人はいますか。(1つに○)
また、「1. いる」の場合は手助けを頼める人に○をつけてください。(いくつでも○)
(n=19)

1. いる	68.4%	→ (n=13)	1. 同居の家族	63.2%
2. いない	10.5%		2. 別居の家族	21.1%
3. 分からない	21.1%		3. 近所の人	10.5%
無回答	0.0%		4. その他〔具体的に：〕	5.3%
			無回答	31.6%

問17 あなた(あて名ご本人を主にサポートしている方)は、災害時に避難を助けたり、避難状況を確認するために、自治会、地区協議会^{※1}、防災市民組織^{※2}へ、住所・氏名・連絡先などお子さまの情報を事前に知らせておくことについて、どう思いますか。
(1つに○)
(N=91)

1. 住所・氏名・連絡先のほか、障害や病気の内容を知らせてもいい	67.0%
2. 住所・氏名・連絡先ならば、知らせてもいい	13.2%
3. 知らせたくない	3.3%
4. 分からない	16.5%
無回答	0.0%

※1「地区協議会」

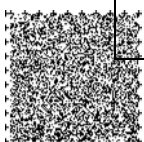
おおむね小学校区をひとつのコミュニティエリアとして、自治会・子ども会・民生委員・PTA・健全育成・学校開放・消防団・商店会・ボランティアサークルなどの地域の活動団体や個人を横糸で結んだネットワーク組織です。

※2「防災市民組織」

発災直後の人命救助や初期消火のため、「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯感に基づき、地域で自主的に結成された組織です。

問18 あなた(あて名ご本人を主にサポートしている方)は、災害時の避難所でどのようなことに配慮してほしいと思いますか。(いくつでも○)
(N=91)

1. 段差がない、使いやすいトイレなどの施設のバリアフリー	17.6%
2. 情報が文字や音声など複数の方法で伝えられること	37.4%
3. 個室、間仕切り(パーテーション)などでの対応が可能であること	78.0%
4. 相談窓口の設置や、介助を担当するスタッフがいること	49.5%
5. アレルギーや介護食、離乳食など食事への配慮がされていること	18.7%
6. その他〔具体的に：〕	17.6%
7. 分からない	5.5%
無回答	2.2%



な　ほんにん　おも　ひ　つづ
あて名ご本人を主にサポートしている方に、引き続き
ちょうふし　しょうがいしゃふくししきく
調布市の障害者福祉施策についておたずねします

問19 あなた(あて名ご本人を主にサポートしている方)は、調布市の障害者福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)
(N=91)

1. 市役所の窓口	25.3%
2. 病院の職員・掲示板	6.6%
3. 障害児施設(放課後デイサービスなど)等の職員・掲示板	14.3%
4. 相談機関(ちょうふだそう, ドルチェ, 希望ヶ丘, こころの健康支援センター)の窓口	4.4%
5. 子ども発達センター	13.2%
6. 子ども家庭支援センター すこやか	0.0%
7. 教育相談所	1.1%
8. 保育園, 幼稚園	1.1%
9. 学校	37.4%
10. 友人から聞く	41.8%
11. 市報ちょうふ	52.7%
12. 市のホームページ	7.7%
13. 調布市の刊行物 (暮らしの便利帳, 障害者福祉のしおり, 元気に育て!!調布っ子など)	41.8%
14. 障害当事者団体の会合・会報など	27.5%
15. その他〔具体的に: 〕	4.4%
16. 特にない・情報は入手していない	7.7%
無回答	0.0%

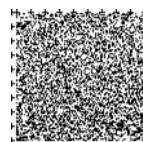
問20 あなた(あて名ご本人を主にサポートしている方)は、あて名ご本人に調布市が平成25年8月より配布しているヘルプカード*を持たせていますか。(1つに○)
(N=91)

1. 持っていて, いつも持ち歩かせている	9.9%
2. 持っているが, 持ち歩かせていない	74.7%
3. 持っていないが, 欲しいと思う	8.8%
4. 持っていないし, 必要ない	4.4%
無回答	2.2%

※「ヘルプカード」

ヘルプカードは、障害のある方が緊急連絡先、医療情報、手伝ってほしい内容などを記載し、普段から身に付けておくことで、緊急時や災害時、日常の困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするものです。

障害福祉課の窓口で配布しています。



問21 あなた(あて名ご本人を主にサポートしている方)は、平成 24 年 10 月から「障害者虐待防止法」が施行されたことを知っていましたか。(1つに○)

(N=91)

1. 知っていた	42.9%
2. 知らなかった	56.0%
無回答	1.1%

問 21-1 「1. 知っていた」と答えた方にお聞きします。調布市では障害福祉課が「障害者虐待防止センター」※として、障害者虐待の通報窓口となっていることを知っていましたか。(1つに○)

(n=39)

1. 知っていた	28.2%
2. 知らなかった	71.8%
無回答	0.0%

※ 「障害者虐待防止センター」

障害者の虐待に関する通報を受けるための窓口として、各市町村が設置しています。センターで通報を受けた場合は、立ち入り調査等による事実確認や、一時保護などの措置を行います。

問22 あなた(あて名ご本人を主にサポートしている方)は、調布市が個別配布している、「i-ファイル」※を知っていますか。(1つに○)

(N=91)

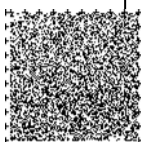
1. 知っていて、使っている	37.4%
2. 知っているが、使っていない	31.9%
3. 知らない	30.8%
無回答	0.0%

※ 「i-ファイル」

調布市では、子どもの成長を応援する、すべての人々の共通理解のもとで、一貫した支援ができるよう、「i-ファイル」を配布しています。

「i-ファイル」は、子どもたちが健やかに成長するために、保護者と様々な機関が連携・協力して支援できるよう、子どもの様子や、これまでに受けてきた支援の内容を書き込めるようにしたものです。

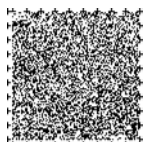
(配布場所) 子ども発達センター、教育相談所、子ども政策課、障害福祉課



問23 あなたは、次の調布市の施策や相談窓口を知っていますか。

((1)~(9)それぞれ1つに〇)

(N=91)	知っている	知らない	無回答
(1) 障害者地域自立支援協議会 様々な障害者団体、障害者支援に関わる機関、専門家など集まり、障害のある方の地域生活を支えるしくみを話しあう協議会です。	22.0%	78.0%	0.0%
(2) ドルチェ 主に身体障害、高次脳機能障害のある方の相談窓口です。調布市総合福祉センター内に設置されています。	38.5%	61.5%	0.0%
(3) ちょうふだそう 主に知的障害のある方の相談窓口です。移動支援事業や就労支援も行っています。	70.3%	29.7%	0.0%
(4) 希望ヶ丘 主に精神障害のある方の相談窓口です。夕食会やオープンスペースの提供なども行っています。	13.2%	86.8%	0.0%
(5) こころの健康支援センター 主に精神障害、発達障害のある方の相談窓口です。デイ事業や就労支援も行っています。	23.1%	76.9%	0.0%
(6) 子ども発達センター お子さんの発達に心配や不安を抱える保護者からの相談に応じ、発達に遅れやかたよりのあるお子さんに専門的支援を行います。	85.7%	14.3%	0.0%
(7) 子ども家庭支援センターすこやか 子どもに関する総合相談（子育て・児童虐待）のほか、情報や遊びの場の提供、子どもの一時預かりを行う施設です。	90.1%	9.9%	0.0%
(8) 教育相談所 お子さんの教育に関する心配ごとについての相談をお受けしています。	91.2%	8.8%	0.0%
(9) 保健センター（健康推進課） 乳幼児の健康診査や成人のがん検診等の健診事業を提供し、保健師、栄養士、歯科衛生士等が育児相談や健康相談に応じています。	81.3%	18.7%	0.0%



問24 次にあげる障害者福祉に関する取組のうち、あなたが今後調布市で特に充実させてほしいものはどれですか。(いくつでも○)

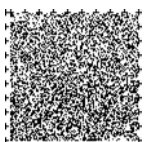
(N=91)

1. 早期からの専門的な療育	47.3%
2. ホームヘルプなど在宅生活を支援するサービス	23.1%
3. 保育園（保育所）、幼稚園、学校での支援	51.6%
4. 保育園（保育所）、幼稚園、学校以外での活動の場の整備	48.4%
5. 福祉サービスの利用や手続きを支援するサービス	34.1%
6. 保護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ	56.0%
7. 困ったことを気軽に相談できる窓口	46.2%
8. 訪問診療、訪問看護などの地域での医療サービス	5.5%
9. 手当や医療費の助成などの経済的な支援	46.2%
10. ボランティア活動などの地域活動の促進	17.6%
11. 公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	16.5%
12. 障害に応じた多様な情報提供の充実	60.4%
13. 障害理解の促進や差別の解消	46.2%
14. 障害のある当事者、家族同士の情報交換、交流の機会	28.6%
15. 福祉サービスに関わる専門的な人材の育成	45.1%
16. その他〔具体的に： 〕	6.6%
無回答	3.3%

問25 調布市の障害者福祉施策(サービス)全般について、あなたはどのように感じますか。(1つに○)

(N=91)

1. とても充実している	4.4%
2. 充実している	53.8%
3. あまり充実していない	34.1%
4. 充実していない	1.1%
無回答	6.6%



問26 調布市では、人々が障害者や高齢者への理解を深め、市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう地域社会の実現を目指しています。このような「市民全体が互いの人格と個性を尊重しあう」という考え方について、あなたやあなたのお子さまの周囲の人は理解していると思いますか。(1つに○)

(N=91)

1. 理解している	4.4%
2. どちらかといえば、理解している	41.8%
3. どちらかといえば、理解していない	28.6%
4. 理解していない	3.3%
5. 分からない	19.8%
無回答	2.2%

問27 障害のある人がいきいきとした生活を送ることができる地域社会を実現していくための取組などについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

きょうりよく
——ご協力ありがとうございました——

